

2025 年度 第 55 回

天文・天体物理若手夏の学校

2025 年 7 月 28 日 (月)～7 月 31 日 (木)

長野県千曲市上山田温泉 ホテル圓山荘

目次

夏の学校開催にあたり	1
会場案内	2
事務局からの諸連絡	3
講演に関する注意事項	5
講演者名簿	7
時間割	11
講演プログラム	12
招待講演アブストラクト	27
全体企画	33
特別セッション（キャリア支援分科会） . .	34
謝辞	35
広告	36
夏の学校事務局スタッフ	37
座長団	37

天文・天体物理若手の会 主催

校長の挨拶

2025年度天文・天体若手夏の学校の校長を務めます、京都大学の橋ヶ谷武志です。若手研究者が主体となって運営する本研究会が、55回目を迎えることができましたのも、ひとえに皆様のご理解とご支援の賜物です。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

昨年度は、コロナ禍を経て対面・合宿形式での開催に戻し、ここ数年で最も多くの参加者を迎える大盛況の研究会となりました。今年度も昨年に引き続き、対面・合宿形式での開催を予定しております。若手研究者同士が直接顔を合わせ、意見を交わし、交流を深められる場を再び提供できることを大変嬉しく思います。

夏の学校の最大の特徴は、若手研究者自身が企画・運営を行い、若手研究者のための研究会を創り上げている点です。研究発表や議論の場であるだけでなく、所属や分野の枠を超えた交流の場となり、異なる視点や新たなアイデアが生まれる貴重な機会を提供します。科学の分業化が進む今日において、若手の段階から異分野との連携を築くことは、今後の研究活動において非常に重要です。

学部生、修士課程、博士課程を問わず、すべての若手研究者の皆様にご参加いただき、活発な議論や交流を通じて夏の学校を盛り上げていただければ幸いです。事務局一同、参加者の皆様にとって有意義な時間となるよう、全力で準備を進めて参ります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第55回 天文・天体物理若手夏の学校校長 橋ヶ谷 武志

会場案内

一覧

会場は長野県戸倉上山田温泉 ホテル圓山荘 (所在地: 〒389-0821 長野県千曲市上山田温泉 2-9-6) です。

会場案内

受付	1F ロビー
A 会場	4F 寿の間
B 会場	2F 桜一
C 会場	1F 月
ポスター会場	2F 桜二、桜三
招待講師用控室	2F 志賀
食事会場 (朝昼夕食)	3F レストラン富士
夜の分科会	2F 桜一
大浴場 (男性)	1F
大浴場 (女性)	1F

会場マップ



※女性は圓山荘併設の貸切風呂
「月うさぎ」をご利用ください。

受付・講演会場

会場はホテル圓山荘(所在地: 〒389-0821 長野県千曲市上山田温泉 2-9-6)です。会場に着いたら、まず受付を行っていただきます。受付は1階ロビーに設けます。受付は初日の**13:30**から開始します。受付では名札をお渡しするので記入して、期間中は常に身につけて下さい。

*夏の学校参加には、ホテル圓山荘への宿泊が必須(他の宿泊施設の利用は禁止)です。

*ホテル圓山荘もしくは周辺のホテルに前泊をされる方は、個人で手配をお願いします。

講演会場は以下の通りになります。

口頭発表

スライド会場 A: 4F 寿の間

スライド会場 B: 2F 桜一

スライド会場 C: 1F 月

ポスター発表

2F 桜二、桜三

会場の地図は「会場案内」をご覧ください。

会場へのアクセス

会場は「しなの鉄道 戸倉駅」より車で**7分程度**、徒歩**25分程度**かかります。戸倉駅-ホテル圓山荘間でシャトルバスが出ています(無料、予約不要)。シャトルバスの停留所は、改札の目の前のロータリーで、運行時間は13:30-15:00を予定しています。会場付近に乗用車100台分の駐車場が完備されています(無料)。

食事

朝食は7:00 - 9:00、昼食は12:00 - 13:30、夕食は19:00 - 21:00(1日目)、19:30 - 21:30(2日目の懇親会、3日目の夕食)の時間帯に、3階レストラン富士にて提供されます。なお、初日(07/28)の昼食と最終日(07/31)の夕食の提供はありませんので、各自で済ませてください。会場には、コーヒーとお菓子を用意しています。館内には自販機があり、徒歩圏内にはファミリーマート(徒歩5分)、セブンイレブン(徒歩12分)があります。

施設案内・諸注意

客室の利用について

- 宿泊は1部屋3-6名です。部屋割り表で同室のメンバーを必ずご確認ください。
- 鍵は1部屋に2つです。紛失には十分ご注意ください。鍵の管理方法は原則として以下の通りをお願いします。
 - * 最後に部屋を出た人は必ず鍵を本部受付に預ける。
 - * 同室のメンバー間で連絡を取り合えるようにする。
- 鍵を預ける場合は本部受付へ預けてください。万一紛失した場合は、ホテルのフロントへ申し出てください。部屋に入れない状況になった場合は、事務局に申し出てください。
- 客室内での飲酒・喫煙は禁止します。喫煙の際は会場案内図に指定された喫煙所をご利用ください。
- タオル・シーツ・浴衣の交換は各自でお願いします。タオルの新しいものは大浴場に用意してあります。また、シーツ・浴衣の新しいものは各階に用意してあります。

食事・入浴について

- 食事・懇親会会場は3階「レストラン富士」です。食事・懇親会の際は係員が名札をチェックしますので、忘れずに持参してください。懇親会に参加されない方の食事会場は1階「雪」です。
- 食事は基本的にバイキング形式で、2日目夜の懇親会のみ立食buffet形式です。アレルギーの表示がありますので、各自で確認していただくかホテルのスタッフにお問い合わせください。
- 1-3日目のプログラム終了後に、夜の分科会と称して夏の学校主催の飲み会を開催します。会場は2階「桜一(昼はB会場)」です。館内は貸し切りですが、節度ある行動をお願いします。
- 入浴に関して、男性は1階の大浴場を使用し、女性は圓山荘併設の貸切風呂をご利用ください。また、貸切風呂利用の際にカードキーが必要です。本部で保管しているのでお立ち寄りください。開催期間中は、5:00から10:00、15:00から24:00入浴可能です。飲酒後の入浴は禁止します。

その他

ホテルの初日のチェックイン、最終日のチェックアウトは以下の通りです。

- チェックイン: 14:00、チェックアウト: 11:00

事務局

開催期間中に 2F 中広間「白馬」に事務局の受付カウンターを開設しています。何かご不明な点がありましたら、スタッフに声をかけるか対応カウンターにお越しください。メールでのお問い合わせ(ss25.info@googlegroups.com) もご利用いただけます。

集合写真

最終日の閉会式後に集合写真の撮影を行います。事務局員の指示に従ってお集まりください。写真の使用に関して差し支えのある方は閉会式までにスタッフにご連絡ください。

ハラスメント行為の禁止について

夏の学校は若手研究者の議論・交流のための場です。他の参加者の迷惑にならないように節度ある行動をお願いします。夏の学校はハラスメント行為を一切許しません。セクハラ等の行為が見受けられたら、然るべき機関への通報を行う場合もあります。発表内容や発表者に対する侮辱や過度な批判など、個人としての尊厳を傷つけたり、不安や恐怖を感じさせる行為もハラスメント行為に含まれます。節度を持った議論をお願いします。

講演に関する注意事項

集録・アブストラクト集

〈集録の提出に関して〉

口頭発表者およびポスター発表者は集録を提出していただきます。ファイル名を「(講演番号).pdf」に変更し、PDF 形式で提出してください。

講演番号は次の参加者一覧のページで氏名に付して記載していますので、各自ご確認ください。なお、講演番号は「XY-00」の形式となります。記入漏れのないよう、ご注意ください。

例:「若夏 学 わかなつ まなぶ M1 SK-01」と記載されている場合

講演番号は「SK-01」なのでファイル名は「SK-01.pdf」

提出は Google フォーム上で行っていただきます。詳しくは「集録について」のページをご確認ください。

〈集録・アブストラクト集の公開〉

夏の学校の集録やアブストラクトは「資料公開」のページで公開されます。

口頭発表

〈発表形式〉

口頭発表 (講演時間 10 分、質疑応答 2 分) は対面で行います。講演はスライドショー形式で発表していただきます。講演時間の大幅な超過や遅刻の場合には、座長の判断で講演を中止する場合がありますので、講演時間に関してはご注意ください。

各講演者それぞれ PC をご用意していただき、プロジェクターを使って発表していただきます。この際、画面の切り替え等の発表準備の時間も発表時間に含まれます。接続・表示テストは休憩時間にて座長の案内により行ってください。接続コードはすべての会場で HDMI ケーブル (タイプ A) となります。変換アダプタは各自でご用意ください。

〈講演時刻時刻〉

口頭講演の時刻・会場はプログラムに従います。必ず「講演プログラム」を確認し、自らの講演時刻・会場をご確認ください。口頭講演の A,B,C 会場で構成され、以下に対応します。

A 会場：4F 寿の間

B 会場：2F 桜一

C 会場：1F 月

それぞれの詳細な場所は「会場案内」をご確認ください。

ポスター発表

〈発表形式〉

ポスター発表は対面で行います。A0 ポスター (縦) にて発表していただきます。ポスターは A0 サイズ (縦) になっていれば複数枚で構成されていても問題ありません。

〈講演時刻・会場〉

ポスターセッションは 2、3 日目 (7/29、7/30) の 9:00~9:45 および 18:30~19:15 に設けられており、全日程とも参加、発表していただきます。ポスターを掲示するポスターボードは講演番号で指定されています。必ず「講演プログラム」にて自身の講演番号を確認して、指定されたポスターボードに掲示してください。

ポスター発表会場は 2 階桜二、桜三になります。また、ポスターは 3 日目の 20:00 までに必ず撤去してください。

オーラルアワード及び受賞者講演について

今年度もオーラルアワードを実施します。本企画は、受賞者にとっては自分の研究をより多くの研究者に知ってもらう機会となり、参加者にとっては質の高い発表を聴く良い機会となります。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

〈本企画の内容〉各分科会の口頭発表の中から最も良かった発表を参加者の投票により決定します。アワード受賞者には4日目に参加者全体に向けた受賞講演をしていただきます。

〈選考方法〉講演を聴講した参加者の投票により、各分科会ごとに1位～3位を選出し、決定します。

〈投票方法〉「Google フォーム」にてオーラルアワード投票を行います。（フォームのリンクは後日公開します。）参加登録している分科会で最も優れていると感じた口頭発表の講演番号を選び、投票してください。投票締切は3日目の20:00までです。

投票は一回のみ行って下さい。アワード投票に関して不正が発覚した場合は投票の無効化・被投票権の没収等の措置を取らせていただきます。

〈表彰〉受賞者の発表は4日目に行います。受賞者の方には3日目の21:30までに個別で連絡をする予定です。

〈受賞者講演〉1位の受賞者の方には4日目の朝に受賞者講演の依頼を行います（時間の都合上、同率1位が多数の場合は座長団が受賞講演者を決定）。

発表形式は口頭発表の講演と同じく12分（発表10分＋質疑応答2分）です。受賞者講演はシングルセッションで全参加者に向けて講演していただきます。講演で発表した内容と同一内容のものでも、他分野の聴衆が多いことを考慮したアレンジをしていただいても構いません。発表はA会場で対面で行います。

ポスターアワード及び受賞者講演について

〈本企画の内容〉全ポスター発表の中から最も良かった発表を参加者の投票により決定します。アワード受賞者には4日目に参加者全体に向けた受賞講演をしていただきます。

〈選考方法〉ポスター発表を聴講した参加者の投票により、全分科会を通して1位～3位を選出し、決定します。

〈投票方法〉「Google フォーム」にてオーラルアワード投票を行います。（フォームのリンクは後日公開します。）参加登録している分科会で最も優れていると感じた口頭発表の講演番号を選び、投票してください。投票締切は3日目の20:00までです。

投票は一回のみ行って下さい。アワード投票に関して不正が発覚した場合は投票の無効化・被投票権の没収等の措置を取らせていただきます。

〈表彰〉受賞者の発表は4日目に行います。受賞者の方には3日目の21:30までに個別で連絡をする予定です。

〈受賞者講演〉上位3名の受賞者の方には4日目の昼頃に受賞者講演の依頼を行います（時間の都合上、同率順位が多数の場合は座長団が受賞講演者を決定）。ポスターアワード講演ではポスターまたはスライドショーをスクリーンに投影して発表していただきます。

講演時間は1人2分を予定しております。ポスターで発表する場合は予めポスターのデータをPDF形式等で持参するようにお願いします。また、受賞者講演はシングルセッションで全参加者に向けて講演していただきます。講演で発表した内容と同一内容のものでも、他分野の聴衆が多いことを考慮したアレンジをしていただいても構いません。発表はA会場で対面で行います。

講演者名簿

分科会、講演形式、講演番号は XY-00 の形式で表されます。X は分科会、Y は講演形式 (K が口頭、P がポスター)、数字は各分科会・講演形式での発表順を表しています。分科会の略記は以下のようになっています。

- 太陽・恒星: T
- コンパクト天体: C
- 星間現象/星・惑星形成: H
- 素粒子・重力・宇宙論: S
- 観測機器: I
- 銀河・銀河団: G

北海道大学

知久 真斗	ちく まなと	M1	GP-24
-------	--------	----	-------

弘前大学

阿部 瑞樹	あべ みずき	M2	SP-34
川田 寛人	かわだ ひろと	M1	CK-31
坂下 義季	さかした よしき	M1	CK-19
佐藤 晴	さとー はる	M1	SK-34
服部 友希	はっとり ゆうき	M1	SK-04

東北大学

及川 凜	おいかわ りん	M2	CK-32
大津 美穂	おおつ みほ	M1	GP-09
檜崎 太希	かしぎ だいichi	M2	CP-25
加藤 数麻	かとう かずま	M1	CK-12
熊田 遼太	くまだ りょうた	M2	CK-13
越水 拓海	こしみず たくみ	M2	CK-15
坂本 雄哉	さかもと ゆうや	M1	GP-10
佐口 隼斗	さぐち はやと	M2	TP-01
佐々木 悠宇	ささき ゆう	M1	GP-08
佐藤 祥太	さとう しょうた	M1	HK-07
千葉 公哉	ちば こうや	M2	CK-10
戸田 周佑	とだ しゅうすけ	M1	GP-11
鍋田 春樹	なべた はるき	M2	HK-15
楢山 愛乃	ならやま あいの	M1	IP-03
萩原 颯	はぎわら はやて	M1	GK-11
林田 学	はやしだ まなぶ	M1	GK-15
松林 優太	まつばやし ゆうた	M1	CK-09
宮崎 凜	みやざき りん	M1	GK-05
米永 直生	よねなが なおき	M2	CK-07

筑波大学

石田 怜士	いしだ れいし	D1	GK-21
伊藤 大佑	いとう だいすけ	M1	HP-09
伊藤 茉那	いとう まな	D1	GK-25
小嶺 龍生	こみね りゅうせい	M1	CK-25
高岸 優希	たかぎし ゆうき	M1	GK-04
照井 禅	てるい ゆずる	M1	GK-02
中尾 颯吾	なかお そうご	M1	CK-27
濱田 朝晃	はまだ あさひ	M1	GK-03
松藤 勇希	まつふじ ゆうき	M1	CK-29

茨城大学

松永 拓巳	まつなが たくみ	M2	HK-05
-------	----------	----	-------

千葉大学

斎藤 光	さいとう ひかる	M1	SK-11
中馬 史博	ちゅうまん ふみひろ	D1	SP-22
久松 姫南乃	ひさまつ ひなの	M1	SK-26
藤川 百花	ふじかわ ももか	M1	GP-25

埼玉大学

秋田 桜佑	あきた おうすけ	M1	HP-19
菊池 龍之介	きくち りゅうのすけ	M1	CP-07
窪田 瑛斗	くぼた あきと	M1	CP-15
高山 颯太	たかやま そうた	M1	HP-04
土橋 祐太	つちはし ゆうた	M1	IK-22
久松 大一郎	ひさまつ たいちろう	M1	CP-16
宮崎 稜	みやざき じょう	M1	CK-08

東京大学

厚地 凪	あつち なぎ	M2	CP-18
井澤 拓海	いざわ たくみ	M2	IK-02
石田 侑一郎	いしだ ゆういちろう	M2	HK-06
稲元 燎平	いなもと りょうへい	M2	GK-22
今井 健人	いまい けんと	M1	SP-12
入倉 鍛斗レオナルド	いりくら たんとれおな ルド	M1	IP-19
岩垣 大成	いわがき たいせい	M2	IK-01
宇野 健太	うの けんた	M1	IK-19
榎森 遼	えもり りょう	M1	GK-24
小川 翔大	おがわ しょうた	M1	SK-09
奥村 珠希	おくむら たまき	M1	GP-07
影浦 優太	かげうら ゆうた	M2	GK-23
川下 大響	かわしも ひろき	D2	CP-03
神原 祐樹	かんばら ゆうき	D2	HP-21
岸川 涼	きしかわ りょう	M1	GP-19
北川 陽斗	きたがわ はると	M1	SK-17
小島 裕樹	こじま ゆうき	M2	IK-07
小林 和弥	こばやし かずや	D1	SP-20
近藤 圭悟	こんどう けいご	M1	CK-28
呉 雨欣	ごう きん	M1	CP-02
権田 達也	ごんだ たつや	M1	CP-06
坂元 祐志	さかもと ゆうじ	M2	IP-15
鮫島 直人	さめしま なおと	M1	HK-16
柴井 すばる	しばい すばる	M1	IP-05
柴沼 優葵	しばぬま ゆき	M1	GP-14
城 壮一郎	じょう そういちろう	M1	CK-06
鈴木 幹基	すずき もとき	M2	SP-05
武知 可夏	たけち かな	M1	GK-18
田中 健翔	たなか けんしょう	M2	IP-29
手良脇 大誠	てらわき たいせい	D1	SP-31
戸頃 響吾	ところ きょうご	M2	TK-09
富谷 卓矢	とみや たくや	D3	SP-26
中野 新太郎	なかの しんたろう	D1	SP-17
中村 勇太	なかむら ゆうた	M1	GK-12
長澤 春香	ながさわ はるか	M1	HP-17
永田 柊弥	ながた とうや	M1	IK-31
名倉 幸祐	なぐら こうすけ	M1	SP-14
奈良崎 裕汰	ならさき ゆうた	M1	HP-06
根津 正大	ねづ しょうだい	M2	TP-07
野村 青生	のむら はるなり	M1	IK-18
平山 彩美里	ひらやま あみり	M1	SK-06
藤原 晨司	ふじはら しんじ	M2	TP-02
松浦 義実	まつうら あきみ	M1	GK-17
丸山 満ちる	まるやま みちる	M1	GP-12
明全 書賢	みょうぜん しょけん	M1	IK-03
森田 開	もりた かい	M1	HP-18
山口 湧樹	やまぐち ゆうき	M1	CP-24
Guo Xingyi	カク セイギ	M1	GP-29
蔡 淑琄	サイ シュウクン	M1	TP-04
Wang Xinpeng	ワン シンペン	D1	SP-13
Wimmer Leonardo	ヴィマ レオナルド	M1	SK-28

東京学芸大学

井上 拓人	いのうえ たくと	M1	SP-27
波多野 広修	はたの ひろなが	M1	SP-32
真崎 琉維	まさき るい	M1	SP-28

東京理科大学			
青山 有未来	あおやま あみら	M2	CK-14
伊藤 世織	いとう せおる	M1	CK-17
岩田 智子	いわた さとこ	M1	IP-18
北川 真生	きたがわ まさき	M1	SP-11
斉藤 結菜	さいとう ゆうな	M1	GP-28
佐藤 丞	さとう じょう	M2	IK-33
志賀 文哉	しが ふみや	M2	IK-25
杉浦 蒼	すぎうら そう	M2	CP-05
高橋 拓也	たかはし たくや	M1	CK-20
富樫 海	とがし かい	M1	CP-23
中武 隼汰	なかたけ しゅんた	M1	IK-21
西村 俊太	にしむら しゅんた	M2	SP-09
樋口 菜由	ひぐち まゆ	M2	IK-20
藤田 紗弓	ふじた さゆみ	M2	IK-24
古川 湧基	ふるかわ ゆうき	M2	IP-11
山崎 楓	やまさき かえで	M1	CK-24
山根 まりあ	やまね まりあ	M1	IK-35
山本 忠彦	やまもと ただひこ	M1	SP-10
渡邊 雄気	わたなべ ゆうき	M1	IK-32
Liao Jinkun	リョウ キンコン	D2	CP-09

東京科学大学			
大城 榛音	おおしろ はると	M2	HK-11

京都市大学			
影山 璃音	かげやま りのん	M2	IK-27

東京都立大学			
管野 大二郎	かんの だいじろう	M1	TK-08
世良 直也	せら なおや	M1	IK-14
福島 優	ふくしま ゆう	M1	IK-11
松村 温斗	まつむら あつと	M1	IK-15

東邦大学			
関口 颯樹	せきぐち さつき	M2	GK-13

慶應義塾大学			
小谷 竜也	こたに たつや	D1	SP-16
淵本 晃輝	ふちもと こうき	M2	GK-16
細川 睦	ほそかわ むつみ	M1	SK-35
前田 龍也	まえだ たつや	M1	HK-01
蒔田 桃子	まきた ももこ	M1	HK-17
水野 湧真	みずの ゆうま	M2	SP-33
柳澤 一輝	やなぎざわ かずき	M2	CK-30

早稲田大学			
石川 裕太	いしかわ ゆうた	M1	GK-14
影山 郁洋	かげやま たかひろ	M1	SK-20
田中 真	たなか まこと	B4	SP-37
松本 佳祐	まつもと けいすけ	M1	SK-12
山崎 陸太郎	やまざき りくたろう	M2	CP-10
Gauchan Samip	ゴウチャン サミプ	M1	GK-06

明治大学			
梅木 匠斗	うめき しょうと	M1	IK-12
久保池 結	くぼいけ ゆい	M1	HK-19
坪川 龍生	つばかわ りゅうせい	M1	HK-20

青山学院大学			
岡野 恭祐	おかの きょうすけ	M2	IP-21
岡部 圭悟	おかべ けいご	M1	CK-16
狩野 健太	かのう けんた	M1	IK-13
中橋 海太	なかはし かいた	M1	IP-04

立教大学			
金子 真太郎	かねこ しんたろう	M1	IK-16
竹内 智貴	たけうち ともき	M2	SP-30
大日 蒼	だいにち そう	M1	SK-01
橋口 穰	はしぐち じょう	M1	IP-14
福田 凌大	ふくだ りょうた	M1	IP-02

中央大学			
石原 維子	いしはら ゆきこ	M1	TK-04
菅井 春佳	すがい はるか	M2	IP-20
長島 汀	ながしま なぎさ	M2	TP-09

法政大学			
高橋 美尋	たかはし みひろ	M2	IP-26

お茶の水女子大学			
塩松 祐華	しおまつ ゆうか	M1	SK-19
松田 紗季	まつだ さき	M1	SK-25

北里大学			
井関 日奈子	いせき ひなこ	M2	SP-29
鈴木 璃収	すずき りしゅう	M1	IK-17

総合研究大学院大学			
宇佐美 昂成	うさみ こうせい	M1	TK-01
片山 友貴	かたやま ともき	D3	SP-01
北出 直也	きたで なおや	M2	HK-13
清田 朋和	きよた ともかず	M2	GK-19
高島 元希	たかしま げんき	M1	IK-04
滝 優輝	たき ゆうき	M1	GP-27
武田 唯	たけだ ゆい	M2	GP-15
千葉 遼太郎	ちばりょうたろう	M2	CK-01
辻 天太	つじ てんた	M2	SP-03
西岡 政寛	にしおか まさひろ	M1	TP-03
西木 友哉	にしき ともや	M1	SK-27
羽田 弘臣	はた ひろおみ	M1	IK-34
波多野 駿	はたの しゅん	D2	GP-21
播田 實りょう太	はたみ りょうた	D1	CP-01
廣瀬 維士	ひろせ ただし	M2	TK-06
横木 直人	まき なおと	M1	SK-31
渡邊 太一	わたなべ たいち	M1	HK-12
He Yingqiu	ホー インチュウ	M1	SP-24

芝浦工業大学			
正宗 智	まさむね さとる	M1	CP-22

神奈川大学			
漆原 みなみ	うるしはら みなみ	M1	CP-19

信州大学			
稲井 天	いない そら	M1	HP-02
魚村 直人	うおむら なおと	M1	GP-01
佐藤 良	さとう まこと	M2	GP-02
瀧本 大芽	たきもと たいが	M1	CP-12
富永 洸太郎	とみなが こうたろう	M1	CP-21
中井 陸斗	なかい りくと	M1	CP-11

名古屋大学

浅井 朗人	あさい あきひと	M1	HP-11
石川 陽	いしかわ あきら	M1	SK-33
伊藤 大将	いとう だいすけ	D1	GP-26
猪又 香菜穂	いまた かなほ	M1	HP-08
内海 秀介	うつみ しゅうすけ	M2	HP-10
大金 有羽	おおがね ゆう	M1	GP-23
加藤 大翔	かとう まさと	M1	IP-06
小柴 啓太	こしば けいた	M1	GP-13
小林 康大	こばやし こうた	M2	HK-02
小林 信房	こばやし のぶふさ	M1	SK-18
佐藤 愛奈	さとう あいな	M1	GP-22
塩谷 大成	しおや たいせい	M1	HP-16
清水 颯人	しみず はやと	M2	HK-08
高木 大知	たかぎ だいち	M1	SP-19
田口 湧大	たぐち ゆうた	M1	GP-18
田中 芙由子	たなか ふゆこ	M1	SK-15
玉木 悠暉	たまき ゆうき	M1	HP-03
野崎 洸生	のぎき こうせい	M1	CP-26
姫野 諒汰	ひめの りょうた	M1	SK-14
牧野 泰紀	まきの たいき	M1	SK-05
松谷 瑞己	まつたに みずき	M1	SK-03
御子 裕治	みこ ゆうじ	M2	HK-10
吉本 吏貢	よしもと りく	M2	SP-21

名古屋市立大学

田中 麻里菜	たなか まりな	M1	HP-13
--------	---------	----	-------

金沢大学

岡本 奏歩	おかもと かなほ	M1	IK-29
久津見 聖音	くつみ あきと	M1	IK-26
平畠 亮汰	へいはたけ りょうた	M1	IK-23
宗像 勇輔	むなかた ゆうすけ	M1	IP-16

京都大学

相宗 勇輝	あいそう ゆうき	M1	GK-09
青戸 敬起	あおと たかゆき	M1	IK-08
有我 優人	ありが ゆうと	M1	IP-13
市原 晋之介	いちばら しんのすけ	M2	TK-03
伊藤 駿治	いとう しゅんや	M1	IP-08
内田 敦也	うちだ あつや	M1	HK-18
梅澤 和真	うめざわ かずま	M1	TK-02
大谷 水都	おおたに みなと	M1	IK-30
奥村 紗那	おくむら さな	M1	IK-28
小野 壮洵	おの そうじゅん	M1	HK-04
小野田 晴樹	おのだ はるき	M1	IP-10
川中 竣介	かわなか しゅんすけ	M1	SK-02
小林 聡馬	こばやし そうま	M1	CK-18
坂本 和樹	さかもと かずき	M2	IP-17
坂本 洸	さかもと こう	M1	CP-20
櫻井 雄太	さくらい ゆうた	M2	CK-26
下田 慶都	しもだ けいと	M1	GK-10
菅原 玲央	すがわら れお	M1	SK-30
妹尾 隆貴	せのお りゅうき	M1	GP-04
瀧藤 晴	たきふじ はれ	M2	CP-04
中村 公亮	なかむら こうすけ	M1	IP-28
中本 那央	なかもと なお	M1	SK-24
夏目 純也	なつめ じゅんや	D2	TP-05
西村 一明	にしむら かずあき	M1	HP-15
花沢 泰光	はなざわ たいき	M1	HP-12
尾藤 太宇	びとう たう	M1	CK-04
福地 勇介	ふくち ゆうすけ	M1	TK-10
福永 千裕	ふくなが ちひろ	M2	IK-09
藤丸 祐生	ふじまる ゆうせい	M2	HP-20
藤原 寛太	ふじわら かんた	M2	GK-08
保家 大将	ほけ ひろまさ	M1	CK-11
宮園 隼人	みやぞの はやと	M2	SP-23

京都産業大学

佐久間 竜雅	さくま りょうが	M1	SK-08
中西 稜	なかにし りょう	M1	SP-07
新田 悠翔	にった はるか	M1	SK-10

大阪大学

小川 涼	おかわ りょう	M1	TK-05
桑山 裕斗	くわやま ゆうと	M1	GP-05
玉置 拓土	たまおき たくと	M1	HK-09
浜本 百夏	はまもと ももか	M1	CP-17
ルフォー ル シャ	るふおーる しゃるる	M1	CK-35

大阪公立大学

角越 仰	すみこし こう	M1	IK-06
田中 孝輔	たなか こうすけ	M2	SP-38
林 知哉	はやし ともや	M2	SP-25
藤本 湧大	ふじもと ゆうだい	M1	HK-03
松原 大空	まつばら たく	M1	SK-29
宮崎 正成	みやざき まさなり	M1	IP-12
山下 晃矢	やました こうや	M1	IK-05
山村 勇斗	やまむら ゆうと	M1	SK-32
山本 美咲	やまもと みさき	M1	GP-20

関西学院大学

桑原 朋樹	くわはら ともき	M2	IP-25
八木 幹太	やぎ かんた	M1	IP-23
山本 侑汰	やまもと ゆうた	M2	IP-24

甲南大学

坂元 いずみ	さかもと いずみ	M1	HP-01
西原 翼	にしはら つばさ	M2	SP-02

近畿大学

岡田 健太郎	おかだ けんたろう	M1	IP-27
柴野 慧	くわの さとる	M2	IP-07
高山 昂大	たかやま こうた	M1	IP-09
松井 怜生	まつい れお	M1	IP-22

神戸大学

泉 啓太	いずみ けいた	M2	CP-08
小林 健斗	こばやし けんと	M1	SK-22
千葉 航	ちば わたる	M2	SP-06

兵庫県立大学

石原 稜也	いしはら りょうや	M1	IK-10
永田 晴飛	ながた はるひ	M2	TP-06
水本 拓走	みずもと たくと	M2	TP-08

岡山理科大学

川村 翔吾	かわむら しょうご	M1	SK-16
中條 初萌	ちゅうじょう はつめ	M1	SK-21
前岡 凜	まえおか りん	M1	SK-23
山中 大和	やまなか やまと	M1	SP-08

広島大学

赤井 嵩宙	あかい たかひろ	M2	CK-33
大富 有歩子	おおとみ ゆほこ	M1	SP-35
栃原 淑慧	とちはら すみえ	M2	CK-34
野澤 大河	のざわ たいが	M1	GK-20
前川 正貴	まえかわ まさき	M1	CK-23
丸田 哲温	まるた てつはる	M2	HK-14
美濃 宏太	みの こうだい	M1	GP-17

山口大学

近藤 駿	こんどう しゅん	M1	SK-07
------	----------	----	-------

愛媛大学

上西 美悠	うえにし みゆ	M1	CK-21
宇宿 智哉	うすき ともや	M1	CK-22
岡崎 真也	おかざき しんや	M1	GP-03
菊池 誠	きくち まこと	M1	CK-05
團 遥希	だん はるき	M1	GK-01
山口 快星	やまぐち かいせい	M1	GK-07

九州大学			
池田 大樹	いけだ たいき	M1	SP-15
上永 裕大	うえなが ゆうた	M2	SP-36
槻木 勇大	つげき たけひろ	M1	HP-07
福澄 諒太郎	ふくずみ りょうたろう	M2	SP-39
山崎 真尋	やまさき まひろ	M2	CK-03
福岡大学			
阿部 麟太郎	あべ りんたろう	M2	SP-40
久賀 紳ノ介	くが しんのすけ	M2	SP-04
熊本大学			
大黒 詩織	おおぐろ しおり	M1	SK-13
菊池 翔太	きくち しょうた	M1	GP-16
長倉 大知	ながくら だいち	M1	SP-18
無津呂 凧斗	むつろ なぎと	M1	CP-14
森本 鉄平	もりもと てっぺい	M1	HP-05
宮崎大学			
倉嶋 順	くらしま じゅん	M1	TK-07
鹿児島大学			
後藤 颯太	ごとう そうた	M2	CK-02
山岸 百香	やまぎし ももか	M1	GP-06
University of the Philippines, Diliman			
Dulinayan Reynan	Dulinayan Reynan	D1	CP-13

	7月28日			7月29日			7月30日			7月31日			
	会場A	会場B	会場C	会場A	会場B	会場C	会場A	会場B	会場C	会場A	会場B	会場C	
06:45													06:45
07:00													07:00
07:15				朝食			朝食			朝食			07:15
07:30													07:30
07:45													07:45
08:00													08:00
08:15													08:15
08:30													08:30
08:45													08:45
09:00				全体ポスターセッション (2F 板二、板三)			全体企画	全体ポスターセッション (2F 板二、板三)		チェックアウト			09:00
09:15													09:15
09:30													09:30
09:45				休憩			休憩			夏学総会			09:45
10:00				招待講演 (素重字) 神野隆介氏	観河・観河団2	コンパクト2	招待講演 (太陽・恒星) 鷺ノ上通香氏	観河・観河団4	コンパクト5				休憩
10:15										オールアワード			10:15
10:30													10:30
10:45				10:45									
11:00				休憩			休憩			ポスターアワード	11:00		
11:15				招待講演 (コンパクト) 岩切渉氏	観測機器2	素重字2	招待講演 (コンパクト) 松本達矢氏	観河・観河団5	観測機器6		11:15		
11:30											11:30		
11:45	11:45												
12:00										12:00			
12:15	昼食			昼食			昼食			12:15			
12:30										12:30			
12:45										12:45			
13:00										13:00			
13:15										13:15			
13:30	受付			招待講演 (星間/星惑) 佐藤寿紀氏	観測機器3	素重字3	招待講演 (観河・観河団) 赤堀卓也氏	コンパクト6	観測機器7	閉会式		13:30	
13:45												13:45	
14:00				休憩			休憩			14:00			
14:15										14:15			
14:30										14:30			
14:45				招待講演 (星間/星惑) 高神真介氏	観測機器4	素重字4	招待講演 (観河・観河団) 上田周太郎氏	コンパクト7	素重字5	14:45			
15:00	開会式									15:00			
15:15				招待講演 (太陽・恒星) 塩田大幸氏	観測機器1	コンパクト1	休憩			15:15			
15:30	15:30												
15:45				休憩			休憩			15:45			
16:00	招待講演 (素重字) 真貝寿明氏	星間/星惑2	コンパクト3	キャリア	星間/星惑3	素重字6	休憩			16:00			
16:15										16:15			
16:30	休憩			休憩			休憩			16:30			
16:45	招待講演 (観測機器) 玉川徹氏	観河・観河団1	素重字1	休憩			休憩			16:45			
17:00										17:00			
17:15				観測機器5	観河・観河団3	コンパクト4	太陽・恒星2	星間/星惑4	素重字7	17:15			
17:30	17:30												
17:45	休憩			休憩			休憩			17:45			
18:00	招待講演 (観測機器) 関谷洋之氏	太陽・恒星1	星間/星惑1	全体ポスターセッション (2F 板二、板三)			全体ポスターセッション (2F 板二、板三)			18:00			
18:15										18:15			
18:30										18:30			
18:45										18:45			
19:00	夕食(バイキング)			懇親会			夕食(バイキング)			19:00			
19:15										19:15			
19:30										19:30			
19:45										19:45			
20:00										20:00			
20:15										20:15			
20:30										20:30			
20:45										20:45			
21:00										21:00			
21:15										21:15			
21:30	21:30												

オーラルセッション

7月28日 15:30–16:30 会場 A

- 15:30 | 招待講演 塩田 大幸 しおた だいこう (情報通信研究機構)
宇宙天気予報：最も身近な天体「太陽」の社会に影響する現象とその予測

7月28日 18:00–19:00 会場 B

- 18:00 | TK-01 宇佐美 昂成 うさみ こうせい (M1)
太陽黒点における CaH の A-X 電子遷移の帰属と TiO などを含めたスペクトルの再現
- 18:12 | TK-02 梅澤 和真 うめざわ かずま (M1)
恒星のフレア中の測光分光観測によるポストフレアループ検出の試み
- 18:24 | TK-03 市原 晋之介 いちはら しんのすけ (M2)
高時間分解能の測光・分光同時観測で迫る M 型星白色光フレアの短時間スケールでの時間発展
- 18:36 | TK-04 石原 維子 いしはら ゆきこ (M1)
K 型巨星 Cl Collinder 228 113 の X 線フレア解析
- 18:48 | TK-05 小川 涼 おがわ りょう (M1)
双子連星を用いた星の年齢と自転の関係の検証

7月30日 10:00–11:00 会場 A

- 10:00 | 招待講演 鷲ノ上 遥香 わしのうえ はるか (理化学研究所)
太陽からはじめる宇宙物理：コロナ加熱・フレアの物理とその応用

7月30日 17:15–18:15 会場 A

- 17:15 | TK-06 廣瀬 維士 ひろせ ただし (M2)
観測ロケット実験 FOXSI-3 による Giant Arcade における超高温成分の発見
- 17:27 | TK-07 倉嶋 順 くらしま じゅん (M1)
XRISM による太陽フレアの地球大気反射 X 線の観測
- 17:39 | TK-08 管野 大二郎 かの だいじろう (M1)
X 線分光撮像衛星 XRISM 搭載 Xtend を用いた 2024 年 8 月磁気嵐時における太陽風電荷交換 X 線イベントの解析
- 17:51 | TK-09 戸頃 響吾 ところ きょうご (M2)
中間高度の磁束管形状が太陽風速度に与える影響
- 18:03 | TK-10 福地 勇介 ふくち ゆうすけ (M1)
太陽黒点およびフィラメントにおける振動現象の分光-偏光観測

ポスターセッション

7月29日 9:00–9:45 桜二、桜三
7月29日 18:30–19:15 桜二、桜三
7月30日 9:00–9:45 桜二、桜三
7月30日 18:30–19:15 桜二、桜三

- TP-01 佐口 隼斗 さぐち はやと (M2)
太陽近くの太陽風中の温度異方性を考慮したパラメトリック崩壊不安定の動径方向発展
- TP-02 藤原 晨司 ふじはら しんじ (M2)
観測による太陽風フラックスの評価
- TP-03 西岡 政寛 にしおか まさひろ (M1)
多波長紫外線分光観測による太陽活動領域の形成過程の解明
- TP-04 蔡 淑琇 サイ シュウクン (M1)
静穏太陽の高速磁化流の観測的研究と SUNRISE-3 への展望
- TP-05 夏目 純也 なつめ じゅんや (D2)
複数の彩層ラインで観測されたフレアループとフレアリボンのスペクトルの特徴
- TP-06 永田 晴飛 ながた はるひ (M2)
磁気活動性の高い K 型星 PW And の H α 線と近赤外 Ca II 三重輝線での分光観測
- TP-07 根津 正大 ねづ しょうだい (M2)
東京大学木曾シュミット望遠鏡 Tomo-e Gozen による前主系列星フレア探査の現状と展望
- TP-08 水本 拓走 みずもと たくと (M2)
散開星団候補天体の分光観測によるポスト T タウリ星の探査
- TP-09 長島 汀 ながしま なぎさ (M2)
中央大学 36 cm 可視光望遠鏡を用いた恒星フレア自動分光観測システムの開発

コンパクト天体

オーラルセッション

7月28日 15:30–16:30 会場 C

- 15:30 | CK-01 千葉 遼太郎 ちばりょうたろう (M2)
副次的光度ピークを持つ **Ibc** 型超新星の星周物質とその形成過程
- 15:42 | CK-02 後藤 颯太 ごとう そうた (M2)
近赤外線観測で探る **long-lived** な **IIn** 型超新星爆発の性質
- 15:54 | CK-03 山崎 眞尋 やまさき まひろ (M2)
鉱物試料に残されたニュートリノの痕跡から探る銀河系の超新星発生日
- 16:06 | CK-04 尾藤 太宇 びとう たう (M1)
Ia 型超新星の光度曲線の教師無し機械学習を用いた解析
- 16:18 | CK-05 菊池 誠 きくち まこと (M1)
機械学習による **X** 線天体の分類手法

7月29日 10:00–11:00 会場 C

- 10:00 | CK-06 城 壮一郎 じょう そういちろう (M1)
現実的中性子星構造を用いたマグネター混合磁場の安定条件の再検討: 状態方程式への依存性
- 10:12 | CK-07 米永 直生 よねなが なおき (M2)
偏光輸送計算で迫るガンマ線バーストの放射メカニズム
- 10:24 | CK-08 宮崎 稯 みやざき じょう (M1)
2024 年に **Swift** 衛星によって観測された **FRED** 型ガンマ線の系統的解析
- 10:36 | CK-09 松林 優太 まつばやし ゆうた (M1)
連星中性子星合体のスペクトル解析による重元素生成量の制限
- 10:48 | CK-10 千葉 公哉 ちば こうや (M2)
キロノバのスペクトルにおけるヘリウム吸収線

7月29日 11:15–12:15 会場 A

- 09:15 | 招待講演 岩切 渉 いわきり わたる (千葉大学)
マルチメッセンジャーネイティブ世代のみなさんへ

7月29日 16:00–17:00 会場 C

- 16:00 | CK-11 保家 大将 ほけ ひろまさ (M1)
WZ Sge 型矮新星 **GOTO065054.49+593624.51** の進化経路に関する観測的研究
- 16:12 | CK-12 加藤 数麻 かとう かずま (M1)
The optically thick line driven wind from a massive white dwarf merger product
- 16:24 | CK-13 熊田 遼太 くまだ りょうた (M2)
X 線バースト直後の電波フレアを用いた質量放出量の推定
- 16:36 | CK-14 青山 有未来 あおやま あみら (M2)
超小型 **X** 線衛星 **NinjaSat** が観測した **MAXI J1752-457** から炭素燃焼の **X** 線ロングバースト
- 16:48 | CK-15 越水 拓海 こしみず たくみ (M2)
多波長電磁波による孤立ブラックホール探査

コンパクト天体

7月29日 17:15–18:15 会場 C

- 17:15 | CK-16 岡部 圭悟 おかべ けいご (M1)
XRISM の観測データを用いた **Cyg X-3** のコンパクト星の質量制限
- 17:27 | CK-17 伊藤 世織 いとう せおる (M1)
XRISM 衛星による高精度 **X** 線分光観測を用いた **4U 1700-377** における **Ni** 過剰の検証と **Fe** 輝線時間変動の解析
- 17:39 | CK-18 小林 聡馬 こばやし そうま (M1)
XRISM による銀河系内ブラックホール **X** 線連星 **IGR J17091-3624** の観測
- 17:51 | CK-19 坂下 義季 さかした よしき (M1)
X 線連星系における星風の粒子計算: ラインフォース評価手法の改良
- 18:03 | CK-20 高橋 拓也 たかはし たくや (M1)
超小型 **X** 線衛星 **NinjaSat** による **Sco X-1** の長期多波長同時観測

7月30日 10:00–11:00 会場 C

- 10:00 | CK-21 上西 美悠 うえにし みゆ (M1)
マイクロクエーサー **SS 433** の相対論的ジェット of **X** 線分光観測
- 10:12 | CK-22 宇宿 智哉 うすき ともや (M1)
可視光分光観測によるマイクロクエーサー **SS 433** のジェットの構造・運動の研究
- 10:24 | CK-23 前川 正貴 まえかわ まさき (M1)
XRISM 衛星を用いた **X** 線精密分光による **X** 線連星の中性子星と降着流の研究
- 10:36 | CK-24 山崎 楓 やまさき かえで (M1)
超小型 **X** 線衛星 **NinjaSat** と山口干渉計による **Cyg X-1** の短時間 **X** 線・電波相関調査
- 10:48 | CK-25 小嶺 龍生 こみね りゅうせい (M1)
一般相対論的偏光輻射輸送計算で探る相対論ジェットの偏光 **X** 線

7月30日 11:15–12:15 会場 A

- 11:15 | 招待講演 松本 達矢 まつもと たつや (東京大学)
コンパクト天体が駆動する突発天体現象

コンパクト天体

7月30日 13:30–14:30 会場 B

- 13:30 CK-26 櫻井 雄太 さくらい ゆうた (M2)
潮汐破壊現象 (TDE) 近傍環境の探査に向けた近赤外ダストエコモデルの応用
- 13:42 CK-27 中尾 颯吾 なかお そうご (M1)
潮汐破壊現象の解明に向けた再落下ガスの一般相対論的輻射磁気流体力学計算
- 13:54 CK-28 近藤 圭悟 こんどう けいご (M1)
Quasi-Periodic Eruptions(QPEs) における衝撃波のダイナミクスの計算
- 14:06 CK-29 松藤 勇希 まつふじ ゆうき (M1)
機械学習を用いたブラックホールの質量降着率と磁束の推定
- 14:18 CK-30 柳澤 一輝 やなぎさわ かずき (M2)
ALMA で観測されたミリ波帯光度曲線解析による銀河系中心核 **Sgr A*** における降着円盤傾斜角の決定

7月30日 14:45–15:45 会場 B

- 14:45 CK-31 川田 寛人 かわだ ひろと (M1)
Ultra-fast Outflow のラインフォース駆動型円盤風モデル: **Clumpy** 構造形成の検討
- 14:57 CK-32 及川 凜 おいかわりん (M2)
ブラックホールジェットの形成機構の理論および同時多波長観測による検証
- 15:09 CK-33 赤井 嵩宙 あかい たかひろ (M2)
多波長モニターおよびスペクトル解析によるブレーザー **TON599** の変動メカニズム推定
- 15:21 CK-34 栃原 淑慧 とちはら すみえ (M2)
IXPE 衛星とかなた望遠鏡を用いたブレーザーの多波長偏光観測
- 15:33 CK-35 ルフォーール シャルル ルフォーール シャルル (M1)
硬 **X** 線とガンマ線から探る **FSRQ** の宇宙論的進化

コンパクト天体

ポスターセッション

- 7月29日 9:00–9:45 桜二、桜三
7月29日 18:30–19:15 桜二、桜三
7月30日 9:00–9:45 桜二、桜三
7月30日 18:30–19:15 桜二、桜三
- CP-01 播田 實 りょう太 はたみ りょうた (D1)
重力崩壊型超新星における **Sr, Ti, V** の合成による爆発メカニズムへの制約
- CP-02 呉 雨欣 ごうきん (M1)
重力崩壊型超新星における **Müller** 高速計算モデルの適用性について
- CP-03 川下 大響 かわしも ひろき (D2)
対不安定超新星によるヘリウム燃焼反応の同時制限可能性
- CP-04 瀧藤 晴 たきふじ はれ (M2)
Fast Blue Optical Transient(FBOT) の輝線形状解析
- CP-05 杉浦 蒼 すぎうら そう (M2)
種族合成計算を用いた超新星背景ニュートリノのエネルギースペクトルの予測
- CP-06 権田 達也 ごんだ たつや (M1)
超新星ニュートリノ観測に基づく物理パラメータ推定の手法
- CP-07 菊池 龍之介 きくち りゅうのすけ (M1)
重力崩壊型超新星 **SN 1987A** でのパルサー探査
- CP-08 泉 啓太 いずみ けいた (M2)
中性子星 **1987A** の直接観測可能性: 速い ν 冷却の影響
- CP-09 Liao Jinkun リュウ キンコン (D2)
原始中性子星の進化計算及び構造解析
- CP-10 山崎 陸太郎 やまざき りくたろう (M2)
マグネターのバースト活動における量子論的プロセス
- CP-11 中井 陸斗 なかい りくと (M1)
パルサー観測に基づく中性子星キック速度の較正
- CP-12 瀧本 大芽 たきもと たいが (M1)
機械学習による銀河系パルサー分布の分析
- CP-13 Dulinayan Reynan (D1)
Superfluid Signatures from Multicomponent Pulsar Model
- CP-14 無津呂 風斗 むつろ なぎと (M1)
パルサー・タイミング・アレイにおける **pulse-jitter** ノイズの解析
- CP-15 窪田 瑛斗 くぼた あきと (M1)
狭輝線セイファート **I** 型銀河の **X** 線観測衛星 **XRISM** での **X** 線スペクトル観測シミュレーション
- CP-16 久松 大一郎 ひさまつ たいちろう (M1)
PDS 456 における **UFO** と **X** 線スペクトルの関連性
- CP-17 浜本 百夏 はまもと ももか (M1)
理論と **X** 線・ミリ波観測に基づく活動銀河核コロナの解明
- CP-18 厚地 風 あつち なぎ (M2)
降着天体の周縁構造解明を目指した天体 **X** 線スペクトルの時間変化スケール解析手法の開発

コンパクト天体

CP-19 漆原 みなみ うるしはら みなみ (M1)

MeV ガンマ線帯域における天体スペクトル予測と観測可能性

CP-20 坂本 洸 さかもと こう (M1)

X 線連星の微弱な輝線・吸収線の探索と **Her X-1** の **eclipse** の **XRISM** 解析

CP-21 富永 洸太郎 とみなが こうたろう (M1)

スーパーエディントン降着が高質量連星ブラックホールに与える影響

CP-22 正宗 智 まさむね さとる (M1)

NICER と **NuSTAR** によるブラックホール連星 **GX 339 – 4** のスペクトル解析

CP-23 富樫 海 とがし かい (M1)

Einstein-Maxwell-Dilaton 理論における数値相対論シミュレーション

CP-24 山口 湧樹 やまぐち ゆうき (M1)

円筒 **shearing box** による降着円盤の磁気乱流ダイナミクスの解明

CP-25 梶崎 太希 かしざき だいichi (M2)

成層降着円盤における **MRI** 乱流加熱モデルの拡張

CP-26 野崎 洸生 のざき こうせい (M1)

粒子法によるブラックホール周りの流体計算法の開発に向けて

星間現象/星・惑星形成

星間現象/星・惑星形成

オーラルセッション

7月28日 18:00–19:00 会場 C

- 18:00 | HK-01 前田 龍也 まえだ たつや (M1)
Mopra 南天銀河面 CO サーベイデータ を使用した銀河系円盤部における広速度幅分子ガス成分の探査
- 18:12 | HK-02 小林 康大 こばやし こうた (M2)
電離領域の伝搬が駆動する分子雲破壊と星形成効率
- 18:24 | HK-03 藤本 湧大 ふじもと ゆうだい (M1)
機械学習を用いた Cygnus-X 領域における大質量星に付随する分子雲の特性の調査
- 18:36 | HK-04 小野 壮洵 おの そうじゅん (M1)
機械学習を用いた星形成過程における化学進化のエミュレーション
- 18:48 | HK-05 松永 拓巳 まつなが たくみ (M2)
ポリトロープガス雲における連星の種の成長過程

7月29日 13:30–14:30 会場 A

- 13:30 | 招待講演 佐藤 寿紀 さとう としき (明治大学)
天体物理の交差点「超新星残骸」の観測研究の魅力
- 変更 | 招待講演 Herman Lee (京都大学)
The Many Faceted Physics and Diversity of Supernova Remnants

7月29日 14:45–15:45 会場 A

- 14:45 | 招待講演 高埴 真介 たかさお しんすけ (武蔵野美術大学)
星表面から迫る星・惑星形成の新展開

7月29日 16:00–17:00 会場 B

- 16:00 | HK-06 石田 侑一郎 いしだ ゆういちろう (M2)
巨大衝突段階の惑星形成を予測する機械学習モデルの作成
- 16:12 | HK-07 佐藤 祥太 さとう しょうた (M1)
巨大ガス惑星によるギャップ形成と衝撃波加熱の一次元モデル
- 16:24 | HK-08 清水 颯人 しみず はやと (M2)
系外惑星の重力によるデブリ円盤の非対称空間分布
- 16:36 | HK-09 玉置 拓土 たまおき たくと (M1)
光度曲線・高空間分解画像の同時解析を用いた重力マイクロレンズ惑星イベント MOA-2011-BLG-322 の質量推定
- 16:48 | HK-10 御子 裕治 みこ ゆうじ (M2)
隕石の惑星大気進入による気流・熱状態への影響のモデリング

7月30日 16:00–17:00 会場 B

- 16:00 | HK-11 大城 榛音 おおしろ はると (M2)
衝突シミュレーションによる圧縮水アグリゲイトの跳ね返り条件の解明とダスト成長シナリオへの示唆
- 16:12 | HK-12 渡邊 太一 わたなべ たいち (M1)
ツリー法を応用した多成分ダストの合体成長計算アルゴリズム
- 16:24 | HK-13 北出 直也 きたで なおや (M2)
原始惑星系円盤におけるミリ波散乱偏光を想定した平行平板の輻射輸送数値解
- 16:36 | HK-14 丸田 哲温 まるた てつはる (M2)
可視近赤外偏光サーベイによる若い散開星団 NGC 6910 の磁場とダストの研究
- 16:48 | HK-15 鍋田 春樹 なべた はるき (M2)
微惑星形成のためのダスト集積に対する磁場の影響

7月30日 17:15–18:15 会場 B

- 17:15 | HK-16 鮫島 直人 さめしま なおと (M1)
Spitzer・JWST データに基づく T Tauri 型星円盤の中間赤外線変光解析
- 17:27 | HK-17 蒔田 桃子 まきた ももこ (M1)
ALMA による超新星残骸 W44 超高速成分 Bullet の観測的研究
- 17:39 | HK-18 内田 敦也 うちだ あつや (M1)
XRISM を用いた超新星残骸 G349.7 + 0.2 の精密 X 線分光観測
- 17:51 | HK-19 久保池 結 くぼいけ ゆい (M1)
Mg-rich 超新星残骸 J0550-6823 と大マゼラン星雲における Shell merger への示唆
- 18:03 | HK-20 坪川 龍生 つばかわ りゅうせい (M1)
Tychon の超新星残骸における核燃焼層の反転とその形成過程

ポスターセッション

7月29日 9:00–9:45 桜二、桜三

7月29日 18:30–19:15 桜二、桜三

7月30日 9:00–9:45 桜二、桜三

7月30日 18:30–19:15 桜二、桜三

HP-01 坂元 いずみ さかもと いずみ (M1)

高速 **HI** ガス衝突による **YMC** 形成に対する恒星放射フィードバックの影響

HP-02 稲井 天 いない そら (M1)

遠方 **DLA** における **DIB** 探査

HP-03 玉木 悠暉 たまき ゆうき (M1)

銀河中心アーク構造解明に向けて：シンクロトロン冷却不安定性による縞状化

HP-04 高山 颯太 たかやま そうた (M1)

可視分光観測による高銀緯分子雲における星形成探査

HP-05 森本 鉄平 もりもと てつぺい (M1)

VAE を用いた **MWA** 可視化データの特徴抽出とクラスタリング解析

HP-06 奈良崎 裕汰 ならさき ゆうた (M1)

分子輝線を用いた近傍低質量分子雲の星形成

HP-07 槻木 勇大 つけき たけひろ (M1)

降着円盤からの磁気流体的流れと電波ジェット生成

HP-08 猪又 香菜穂 いまた かなほ (M1)

高速度分子雲と銀河系円盤の相互作用の理論的研究

HP-09 伊藤 大佑 いたう だいすけ (M1)

分子雲コアにおける有機高分子形成過程の化学反応シミュレーション

HP-10 内海 秀介 うつみ しゅうすけ (M2)

新しい輻射流体計算手法の開発と木星質量連星形成過程の理論的研究

HP-11 浅井 朗人 あさい あきひと (M1)

原始惑星系円盤進化を考慮した巨大惑星形成の理論的研究

HP-12 花沢 泰光 はなざわ たいき (M1)

地球の **H–C–N–S** 起源に対する月形成衝突体の寄与：**Grewal et al. (2024)** の紹介

HP-13 田中 麻里菜 たなか まりな (M1)

岩石の吹き飛ばしを考慮した彗星から小惑星への進化モデル

HP-15 西村 一明 にしむら かずあき (M1)

時間進化する原始惑星系円盤ガスのもとでの軌道移動を考慮した地球型惑星形成に関する **N** 体計算

HP-16 塩谷 大成 しおや たいせい (M1)

固体天体の衝突シミュレーションを用いた惑星形成段階における微惑星の衝突特性の理論的研究

HP-17 長澤 春香 ながさわ はるか (M1)

地球接近小惑星の広視野動画観測と近紫外線観測で迫る地球の水の起源

HP-18 森田 開 もりた かい (M1)

PeVatron 探査の現状と **CTAO** による展望

HP-19 秋田 桜佑 あきた おうすけ (M1)

XRISM 衛星 **Resolve** を用いた **Kepler'** s **SNR** までの距離推定

HP-20 藤丸 祐生 ふじまる ゆうせい (M2)

超高速 **3** 次元流体シミュレーションを用いた **Ia** 型超新星残骸における多様性の起源の調査

HP-21 神原 祐樹 かんばら ゆうき (D2)

微惑星リングにおける原始惑星の寡占的成長

素粒子・重力・宇宙論

素粒子・重力・宇宙論

オーラルセッション

7月28日 16:45–17:45 会場 C

- 16:45 | SK-01 大日 蒼 だいにち そう (M1)
インフレーション期宇宙の格子シミュレーション
- 16:57 | SK-02 川中 竣介 かわなか しゅんすけ (M1)
DESI 観測データによる α アトラクターインフレーションモデルの制約
- 17:09 | SK-03 松谷 瑞己 まつたに みずき (M1)
初期宇宙における原始ブラックホール形成過程における非球対称性の影響
- 17:21 | SK-04 服部 友希 はっとり ゆうき (M1)
確率論的ウルTRASローロールインフレーションでの曲率揺らぎの非ガウスの尾部：原始ブラックホールとの関わり
- 17:33 | SK-05 牧野 泰紀 まきの たいき (M1)
素粒子標準模型を考慮した原始重力波スペクトルの理論的解析

7月29日 10:00–11:00 会場 A

- 10:00 | 招待講演 神野 隆介 (神戸大学)
宇宙論的一次相転移と重力波生成

7月29日 11:15–12:15 会場 C

- 11:15 | SK-06 平山 彩美里 ひらやま あみり (M1)
Dark Age における **21cm** 線シグナルを用いた原始非ガウス性の観測についての研究の現状
- 11:27 | SK-07 近藤 駿 こんどう しゅん (M1)
中性水素 **21cm** 線を用いた標準宇宙論の検証
- 11:39 | SK-08 佐久間 竜雅 さくまりょうが (M1)
小スケール構造に基づく原始揺らぎパワースペクトルの制限とその理論的背景
- 11:51 | SK-09 小川 翔大 おがわ しょうた (M1)
DESI による高光度赤外線銀河とクエーサーの観測に基づく原始非ガウス性の制限
- 12:03 | SK-10 新田 悠翔 にった はるか (M1)
宇宙論パラメータの推定を目的としたパワースペクトル解析による統計モデルの開発

7月29日 13:30–14:30 会場 C

- 13:30 | SK-11 斎藤 光 さいとう ひかる (M1)
CMB lensing を用いたニュートリノ質量の制限
- 13:42 | SK-12 松本 佳祐 まつもと けいすけ (M1)
実サンプルとモンテカルロシミュレーションを用いた前景銀河による **Ia** 型超新星赤化検出の試み
- 13:54 | SK-13 大黒 詩織 おおぐろ しおり (M1)
21cm 線観測における電離層による位置変化の解析と観測への影響評価
- 14:06 | SK-14 姫野 諒汰 ひめの りょうた (M1)
機械学習を用いた再結合時の物質密度場の復元
- 14:18 | SK-15 田中 芙由子 たなか ふゆこ (M1)
すばる **HSC** データを用いた弱重力レンズ効果による近傍銀河団の質量推定

7月29日 14:45–15:45 会場 C

- 14:45 | SK-16 川村 翔吾 かむむら しょうご (M1)
泡宇宙の衝突における **Cosmic wakes** によるマルチバース観測
- 14:57 | SK-17 北川 陽斗 きたがわ はると (M1)
超新星ニュートリノによるマヨロンや **Z'** ボソンへの制限
- 15:09 | SK-18 小林 信房 こばやし のぶふさ (M1)
Domain-wall quintessence
- 15:21 | SK-19 塩松 祐華 しおまつ ゆうか (M1)
不安定ダイナミクスで探る量子重力とエンタングルメント
- 15:33 | SK-25 松田 紗季 まつだ さき (M1)
Dark photon による **CMB** の **V** モード偏光生成

7月29日 16:00–17:00 会場 A

- 16:00 | 招待講演 真貝 寿明 (大阪工業大学)
一般相対性理論 **110** 年の概観

素粒子・重力・宇宙論

素粒子・重力・宇宙論

7月30日 14:45-15:45 会場 C

- 14:45 [SK-21](#) 中條 初萌 ちゅうじょう はつめ (M1)
高解像度の宇宙論的シミュレーションデータを用いた地球近傍における暗黒物質密度と速度分布の評価
- 14:57 [SK-22](#) 小林 健斗 こばやし けんと (M1)
アキシオンダークマター中のアキシオン・フォトン変換
- 15:09 [SK-23](#) 前岡 凜 まえおか りん (M1)
アストロメトリによる超軽量ダークマター検出の可能性について
- 15:21 [SK-24](#) 中本 那央 なかもと なお (M1)
重力波を用いたブラックホール周囲のダークマター検出
- 15:33 [SK-20](#) 影山 郁洋 かげやま たかひろ (M1)
中性子星からクォーク星への衝撃波を通した相転移

7月30日 16:00-17:00 会場 C

- 16:00 [SK-26](#) 久松 姫南乃 ひさまつ ひなの (M1)
超大質量ブラックホール連星合体による背景重力波の高次統計量
- 16:12 [SK-27](#) 西木 友哉 にしき ともや (M1)
重力波天文学の最近の進展
- 16:24 [SK-28](#) Wimmer Leonardo ヴィマ レオナルド (M1)
Bayesian Search for Gravitational-Wave Memory in Binary Black Hole Mergers up to the GWTC-3
- 16:36 [SK-29](#) 松原 大空 まつばら たく (M1)
電磁波と重力波における放射抑制の比較解析
- 16:48 [SK-30](#) 菅原 玲央 すがわら れお (M1)
パルサータイミングアレイを用いた連星ブラックホールの背景重力波研究の展望

7月30日 17:15-18:15 会場 C

- 17:15 [SK-31](#) 槇木 直人 まき なおと (M1)
時間変動するダークエネルギーの理論モデルについて
- 17:27 [SK-32](#) 山村 勇斗 やまむら ゆうと (M1)
コンパクト天体への重力崩壊による粒子生成
- 17:39 [SK-33](#) 石川 陽 いしかわ あきら (M1)
IDECAMB による相互作用するダークエネルギーモデルの統一的解析
- 17:51 [SK-34](#) 佐藤 晴 さとう はる (M1)
球対称定常時空における二つのレンズ方程式間の対応 ~Correspondence between two gravitational lens equations in a static and spherically symmetric spacetime~
- 18:03 [SK-35](#) 細川 睦 ほそかわ むつみ (M1)
Kerr 時空における光子の球面軌道について

ポスターセッション

- 7月29日 9:00-9:45 桜二、桜三
7月29日 18:30-19:15 桜二、桜三
7月30日 9:00-9:45 桜二、桜三
7月30日 18:30-19:15 桜二、桜三
- [SP-01](#) 片山 友貴 かたやま ともき (D3)
Horndeski 理論の拡張に向けた **Horndeski** 理論の理解
- [SP-02](#) 西原 翼 にしはら つばさ (M2)
重力レンズ効果の再現
- [SP-03](#) 辻 天太 つじてんた (M2)
Could Gravitational Waves Unlock the Inflaton Sector?
- [SP-04](#) 久賀 紳ノ介 ぐが しんのすけ (M2)
3次元重力崩壊型超新星モデルに基づく重力波解析
- [SP-05](#) 鈴木 幹基 すずき もとき (M2)
正規直交化した準固有振動モードを用いたブラックホールリングダウン重力波データ解析に対する準解析的なアプローチ
- [SP-06](#) 千葉 航 ちばわたる (M2)
ランダム磁場中を伝搬する重力波-電磁波系の解析について
- [SP-07](#) 中西 稜 なかにし りょう (M1)
N 体シミュレーションにおける重力ポテンシャルに基づいたサブハロー同定手法の検討
- [SP-08](#) 山中 大和 やまなか やまと (M1)
非リーマン重力理論におけるパリティ対称性の破れの探求
- [SP-09](#) 西村 俊太 にしむら しゅんた (M2)
U(1) ゲージ不変スカラー・ベクトル・テンソル理論における帯電・帯磁したブラックホール解の安定性解析
- [SP-10](#) 山本 忠彦 やまもと ただひこ (M1)
Quasinormal Mode 観測による電荷 BH と磁荷 BH の識別は可能か?
- [SP-11](#) 北川 真生 きたがわ まさき (M1)
U(1) ゲージ不変 scalar-vector-tensor 理論における BH 解
- [SP-12](#) 今井 健人 いまい けんと (M1)
確率的背景重力波を組み込んだ **spectral siren method** による宇宙論パラメータ推定
- [SP-13](#) Wang Xinpeng ワン シンペン (D1)
Primordial Black Hole as Dark Matter and Gravitational Wave from Double Inflation
- [SP-14](#) 名倉 幸祐 なぐら こうすけ (M1)
DESI DR2 を用いたバリオン音響振動の観測に基づく宇宙論の制限
- [SP-15](#) 池田 大樹 いけだ たいき (M1)
Axion-photon mixing in quantum field theory
- [SP-16](#) 小谷 竜也 こたに たつや (D1)
キューサー吸収線を使用した $z = 0.89$ における宇宙マイクロ波背景放射温度の計測
- [SP-17](#) 中野 新太郎 なかの しんたろう (D1)
角度方向の系統誤差の影響を抑えた銀河パワースペクトルの解析法の開発
- [SP-18](#) 長倉 大知 ながくら だいち (M1)
MWA 観測を用いた月反射 **RFI** の解析と **21cm** 線観測への影響
- [SP-19](#) 高木 大知 たかぎ だいち (M1)
ブラックホールへの非赤道面プラズマ流と衝撃波形成

素粒子・重力・宇宙論

SP-20 小林 和弥 こばやし かずや (D1)

重力波データを用いて解析する連星ブラックホールのスピン分布

SP-21 吉本 吏貢 よしもと りく (M2)

Entanglement harvesting と Partner formula

SP-22 中馬 史博 ちゅうまん ふみひろ (D1)

連星ブラックホールの角度分布を用いた宇宙論

SP-23 宮園 隼人 みやぞの はやと (M2)

高密度核物理の解明にむけた重力波による連星中性子星パラメータ推定の精度向上

SP-24 He Yingqiu ホー インチュウ (M1)

A review of cosmic topology: the shape of the universe

SP-25 林 知哉 はやし ともや (M2)

Superspinar の境界条件問題

SP-26 富谷 卓矢 とみや たくや (D3)

スーパーカミオカンデにおける機械学習を用いた $p \rightarrow \nu K^+$ 陽子崩壊事象の探索

SP-27 井上 拓人 いのうえ たくと (M1)

長さの最小値を持つ (2+1) 次元レギュラーブラックホール時空と測地線の構造

SP-28 真崎 琉維 まさき るい (M1)

Schwarzschild 時空における測地線方程式の可積分性を保持した差分化

SP-29 井関 日奈子 いせき ひなこ (M2)

強重力場下における量子波動関数の振る舞い

SP-30 竹内 智貴 たけうち ともき (M2)

偏光による光線軌道の変化

SP-31 手良脇 大誠 てらわき たいせい (D1)

観測領域形状の影響を受けない銀河・銀河レンズの統計量推定と銀河-物質相関の測定法

SP-32 波多野 広修 はたの ひろなが (M1)

宇宙初期において空間非可換性が時空とインフラトンに及ぼす影響

SP-33 水野 湧真 みずの ゆうま (M2)

ワームホールを運動する粒子と時間的閉曲線の実現可能性

SP-34 阿部 瑞樹 あべ みずき (M2)

宇宙論における対称テンソル場

SP-35 大富 有歩子 おおとみ ゆほこ (M1)

重力波観測によるハッブル・ルメートル定数の測定誤差推定

SP-36 上永 裕大 うえなが ゆうた (M2)

非摂動的な手法を用いたエンタングルメント・ハーベスティングの解析

SP-37 田中 真 たなか まこと (B4)

S-matrix bootstrap による重力理論の解析

SP-38 田中 孝輔 たなか こうすけ (M2)

宇宙ひもによる Kerr ブラックホールからのエネルギー取り出し

SP-39 福澄 諒太郎 ふくずみ りょうたろう (M2)

オプトメカ系を用いた重力量子もつれの生成の検証

SP-40 阿部 麟太郎 あべ りんたろう (M2)

シュワルツシルト時空における光線追跡と降着構造の観測的像の解析

観測機器

オーラルセッション

7月28日 15:30–16:30 会場 B

- 15:30 [IK-01](#) 岩垣 大成 いわがき たいせい (M2)
CMB 偏光観測に用いる偏光変調器のための低温回転機構の回転不安定性についての解析的なモデルの構築
- 15:42 [IK-02](#) 井澤 拓海 いざわ たくみ (M2)
CMB 偏光観測に向けた液体窒素環境での透過率測定系の構築とその性能評価
- 15:54 [IK-03](#) 明全 書賢 みょうぜん しょけん (M1)
CMB 精密偏光観測に向けたレーザー加工を用いた多層フィードホーンアレイの開発
- 16:06 [IK-04](#) 高島 元希 たかしま げんき (M1)
宇宙マイクロ波背景放射を通じた B モード偏光の観測に向けた多層反射防止膜の性能評価
- 16:18 [IK-07](#) 小島 裕樹 こじま ゆうき (M2)
K 型巨星の中間赤外線標準星としての有用性について

7月28日 16:45–17:45 会場 A

- 16:45 招待講演 玉川 徹 たまがわ とおる (理化学研究所)
超小型衛星で天文学ができた：NinjaSat が切り拓いた道

7月28日 18:00–19:00 会場 A

- 18:00 招待講演 関谷 洋之 せきや ひろゆき (東京大学)
超新星ニュートリノ観測の推進：スーパーカミオカンデのハードウェア改修と今後の役割

7月29日 11:15–12:15 会場 B

- 11:15 [IK-05](#) 山下 晃矢 やました こうや (M1)
230、345GHz 帯広帯域超伝導 mixer を用いた受信機の開発
- 11:27 [IK-06](#) 角越 仰 すみこし こう (M1)
22, 43, 86GHz 帯同時観測のための光学系設計
- 11:39 [IK-08](#) 青戸 敬起 あおと たかゆき (M1)
極限補償光学のための点回折干渉計型波面センサの性能評価
- 11:51 [IK-09](#) 福永 千裕 ふくなが ちひろ (M2)
弾性体ステッチングを用いた鏡の部分干渉計測
- 12:03 [IK-10](#) 石原 稜也 いしはら りょうや (M1)
ダイクロイックミラーを用いた複眼望遠鏡の開発

7月29日 13:30–14:30 会場 B

- 13:30 [IK-11](#) 福島 優 ふくしま ゆう (M1)
MEMS 技術を用いた Schmidt 配置 Lobster eye 光学系の X 線性能評価
- 13:42 [IK-12](#) 梅木 匠斗 うめき しょうと (M1)
高角度分解能 X 線望遠鏡の精密アライメントシステムの構築
- 13:54 [IK-13](#) 狩野 健太 かのう けんた (M1)
ガラスリボンを用いた X 線望遠鏡の光学シミュレーション
- 14:06 [IK-14](#) 世良 直也 せら なおや (M1)
シリコン高温塑性変形技術を用いた X 線反射鏡基板の加工条件最適化と性能評価試験
- 14:18 [IK-15](#) 松村 温斗 まつむら あつと (M1)
シリコン高温塑性変形技術を用いた X 線反射鏡基板の鏡面精度向上の研究

観測機器

7月29日 14:45–15:45 会場 B

- 14:45 [IK-16](#) 金子 真太朗 かねこ しんたろう (M1)
宇宙精密 X 線分光観測のための超伝導遷移端検出器 (TES) のマイクロ波読み出し技術の地上実証実験
- 14:57 [IK-17](#) 鈴木 璃収 すずき りしゅう (M1)
TES カロリメータのエネルギー分解能向上に向けた超伝導転移温度の制御と界面抵抗の検討
- 15:09 [IK-18](#) 野村 青生 のむら はるなり (M1)
TES マイクロカロリメータの side-car 型構造における伝熱シミュレーション
- 15:21 [IK-19](#) 宇野 健太 うの けんた (M1)
太陽アクション探索における TES の感度最大化とマルチピクセル化
- 15:33 [IK-20](#) 樋口 茉由 ひぐち まゆ (M2)
X 線分光撮像衛星 XRISM 搭載 軟 X 線撮像装置 (SXI) の軌道上におけるコンタミネーションの評価

7月29日 17:15–18:15 会場 A

- 17:15 [IK-21](#) 中武 隼汰 なかたけ しゅんた (M1)
X 線分光撮像衛星 XRISM 搭載 軟 X 線撮像装置 Xtend による Abell 2029 の観測データを用いた検出器位置依存の有効面積の評価
- 17:27 [IK-22](#) 土橋 祐太 つちはし ゆうた (M1)
モンテカルロ数値計算を用いた XRISM 衛星の観測中に起きた太陽フレアによる Xtend への影響の定量的研究
- 17:39 [IK-23](#) 平畠 亮汰 へいはたけ りょうた (M1)
ダイヤモンド半導体を用いた放射線検出器の性能評価と放射線耐性
- 17:51 [IK-24](#) 藤田 紗弓 ふじた さゆみ (M2)
X 線天文衛星搭載用 SOI ピクセル検出器の放射線耐性の評価
- 18:03 [IK-25](#) 志賀 文哉 しが ふみや (M2)
X 線天文用 SOI ピクセル検出器における電荷損失の原因検討

観測機器

7月30日 11:15–12:15 会場 C

- 11:15 [IK-26](#) 久津見 聖音 くつみ あきと (M1)
HiZ-GUNDAM 搭載 **X** 線検出器に対する宇宙線バックグラウンドのシミュレーションによる評価
- 11:27 [IK-27](#) 影山 璃音 かげやま りのん (M2)
ガンマ線バースト観測による初期宇宙解明を目指す **HiZ-GUNDAM** 衛星搭載の近赤外線望遠鏡の開発
- 11:39 [IK-28](#) 奥村 紗那 おくむら さな (M1)
気球搭載 **MeV** ガンマ線望遠鏡の **1 MeV** 以上における高感度化
- 11:51 [IK-29](#) 岡本 奏歩 おかもと かなほ (M1)
SMILE-3 搭載反同時計数検出器の読み出し回路開発
- 12:03 [IK-30](#) 大谷 水都 おおたに みなと (M1)
宇宙線と雷雲ガンマ線の時刻同期の検証に向けた測定法の開発

7月30日 13:30–14:30 会場 C

- 13:30 [IK-31](#) 永田 柊弥 ながた どうや (M1)
多重解像度解析を用いることによるガンマ線識別精度の検証
- 13:42 [IK-32](#) 渡邊 雄気 わたなべ ゆうき (M1)
Lunar-RICHeS 高エネルギー計測部の概念検証に向けた両面シリコンストリップ検出器の組み合わせ試験に向けた読み出し用特定集積回路の常温における性能評価
- 13:54 [IK-33](#) 佐藤 丞 さとう じょう (M2)
Lunar-RICHeS 高エネルギーユニットの宇宙線同時計測による同一粒子識別性能の検証
- 14:06 [IK-34](#) 羽田 弘臣 はた ひろおみ (M1)
月面上でのデカメートル波観測のスペクトルに影響を及ぼす前景放射とビームの解析
- 14:18 [IK-35](#) 山根 まりあ やまね まりあ (M1)
宇宙観測技術を応用した放射線イメージング用平行孔コリメータ評価手法の構築

観測機器

ポスターセッション

- 7月29日 9:00–9:45 桜二、桜三
7月29日 18:30–19:15 桜二、桜三
7月30日 9:00–9:45 桜二、桜三
7月30日 18:30–19:15 桜二、桜三
- [IP-02](#) 福田 凌大 ふくだりょうた (M1)
超伝導遷移端型 **X** 線検出器の多画素化に向けたエネルギー分解能向上のための基礎研究
- [IP-03](#) 橋山 愛乃 ならやま あいの (M1)
補償光学における大気揺らぎ **Tip-Tilt** 成分の補正の最適化
- [IP-04](#) 中橋 海太 なかはし かいた (M1)
ガラスリボンを用いた **X** 線反射鏡の開発
- [IP-05](#) 柴井 すばる しばい すばる (M1)
SILVIA 地上試験用レンジシミュレータの設計
- [IP-06](#) 加藤 大翔 かとう まさと (M1)
北半球最高感度サブミリ波観測装置の実現に向けた広帯域デジタル分光計でのデジタルサイドバンド分離の実証
- [IP-07](#) 栗野 慧 くりの けい (M2)
超高層大気観測専用 **X** 線カメラ「**SUIM**」に搭載するスリットコリメータの開発
- [IP-08](#) 伊藤 駿治 いとう しゅんや (M1)
MoMoTarO による月の水資源探査と中性子寿命測定への応用
- [IP-09](#) 高山 昂大 たかやま こうた (M1)
X 線分光衛星 **X R I S M** 搭載軟 **X** 線撮像装置 **X t e n d** の2つの観測モードにおける軌道上性能評価
- [IP-10](#) 小野田 晴樹 おのだ はるき (M1)
元素合成の現場に迫る **MeV** ガンマ線天文学と次世代 **MeV** ガンマ線望遠鏡の開発
- [IP-11](#) 古川 湧基 ふるかわ ゆうき (M2)
小動物の薬物動態を可視化するイメージングシステムの開発 ～宇宙 **X** 線観測用検出器の地上用途への展開～
- [IP-12](#) 宮崎 正成 みやざき まさなり (M1)
センチメートル波帯の広帯域観測に向けたフィードホーンの開発
- [IP-13](#) 有我 優人 ありが ゆうと (M1)
せいめい望遠鏡(岡山天文台)の赤外偏光観測装置の問題点
- [IP-14](#) 橋口 穰 はしぐち じょう (M1)
TES 型 **X** 線マイクロカロリメータの大有効面積拡大に向けた研究
- [IP-15](#) 坂元 祐志 さかもと ゆうじ (M2)
JASMINE 衛星搭載のフラット校正光源の検討
- [IP-16](#) 宗像 勇輔 むなかた ゆうすけ (M1)
ガンマ線バースト光学閃光の観測を目指すスターカメラシステムの夜間撮像性能評価
- [IP-17](#) 坂本 和樹 さかもと かずき (M2)
引きずり3点法における一般化逆行列を用いた形状計測手法の開発
- [IP-18](#) 岩田 智子 いわた さとこ (M1)
超小型 **X** 線衛星 **NinjaSat** で観測した活動銀河核とバックグラウンド推定
- [IP-19](#) 入倉 鍛斗レオナルド いりくら たんとれおなると (M1)
衛星搭載を目指した宇宙マイクロ波背景放射偏光観測用 **TES** ボロメータの検証試験
- [IP-20](#) 菅井 春佳 すがい はるか (M2)
ブラッグ反射型分光偏光計 **ParaDAXAS** の偏光感度評価

観測機器

IP-21 岡野 恭祐 おかの きょうすけ (M2)

ガラスリボンを用いた X 線集光系の設計およびハウジング開発

IP-22 松井 怜生 まつい れお (M1)

超高層大気専用 X 線カメラ S U I M に搭載する S O I - C M O S イメージセンサのデータ取得における異常の調査

IP-23 八木 幹太 やぎ かんた (M1)

軟 X 線用多色軌道上校正線源の検討

IP-24 山本 侑汰 やまもと ゆうた (M2)

完全空乏化裏面照射型 CCD の硬 X 線性能評価

IP-25 桑原 朋樹 くわはら ともき (M2)

放射線損傷を受けた p n C C D 素子に対する詳細性能評価

IP-26 高橋 美尋 たかはし みひろ (M2)

広視野かつ高時間分解能を実現する C M O S センサーカメラの機械系の開発

IP-27 岡田 健太郎 おかだ けんたろう (M1)

X R I S M 衛星搭載軟 X 線撮像装置 X t e n d による天の川銀河中心領域の X 線観測

IP-28 中村 公亮 なかむら こうすけ (M1)

超伝導量子ビットを使った軽質量ダークマターの検出

IP-29 田中 健翔 たなか けんしょう (M2)

広帯域分光装置 N I N J A 赤外線検出器システム最適化

銀河・銀河団

オーラルセッション

7月28日 16:45–17:45 会場 B

- 16:45 | GK-01 團 遥希 だん はるき (M1)
COSMOS 領域の $z: 0.5 \sim 1.0$ における大規模構造と銀河の関係について
- 16:57 | GK-02 照井 禅 てるい ゆずる (M1)
JWST と ALMA で探る、高赤方偏移銀河 MACS1149-JD1 の星間媒質
- 17:09 | GK-03 濱田 朝晃 はまだ あさひ (M1)
JWST IFU データで探る異常なバルマー輝線比を示す高赤方偏移銀河 RXC J2248-ID3 の性質
- 17:21 | GK-04 高岸 優希 たかぎし ゆうき (M1)
可視光 + 遠赤外観測による電離酸素輝線を用いた銀河の星間媒質の多波長解析
- 17:33 | GK-12 中村 勇太 なかむら ゆうた (M1)
MHD シミュレーションから迫る銀河–銀河団ガス (ICM) 相互作用による銀河団構造

7月29日 10:00–11:00 会場 B

- 10:00 | GK-05 宮崎 凜 みやざき りん (M1)
近傍矮小銀河を用いた球対称 Jeans 解析による dark matter model の評価
- 10:12 | GK-06 Gauchan Samip ゴウチャン サミプ (M1)
Tracing the fading phase of active galactic nuclei in $z < 0.4$ using eROSITA, WISE, and SDSS
- 10:24 | GK-07 山口 快星 やまぐち かいせい (M1)
銀河衝突シミュレーションによる初期宇宙の銀河と超巨大ブラックホールの研究
- 10:36 | GK-08 藤原 寛太 ふじわら かんた (M2)
AGN ポーラダストからの反射 X 線スペクトルの計算および近傍 AGN への適用
- 10:48 | GK-09 相宗 勇輝 あいそう ゆうき (M1)
超高光度赤外線銀河 IRASF05189-2524 の広帯域 X 線スペクトル解析 XRISM 時代へ向けて～ポーラダストモデルの適用～

7月29日 17:15–18:15 会場 B

- 17:15 | GK-10 下田 慶都 しもだ けいと (M1)
多波長 SED 解析による AGN を含むサブミリ波銀河のパラメータ推定
- 17:27 | GK-11 萩原 颯 はぎわら はやて (M1)
 $z = 2$ の原始銀河団に見られる低質量スターバースト銀河の物理的起源
- 17:39 | GK-13 関口 颯樹 せきぐち さつき (M2)
RX J1347.5-1145 における摂動の状態方程式と非熱的電子の起源への制限
- 17:51 | GK-14 石川 裕太 いしかわ ゆうた (M1)
eROSITA X 線とすばる HSC SSP 可視光サーベイで明らかにする X 線で明るい $z > 4$ クェーサー探査
- 18:03 | GK-15 林田 学 はやしだ まなぶ (M1)
Little Red Dots の正体としての Quasi-Star モデルの検証

銀河・銀河団

7月30日 10:00–11:00 会場 B

- 10:00 | GK-16 淵本 晃輝 ふちもと こうき (M2)
中心核ブラックホール質量-バルジ質量関係の赤方偏移依存性とその不確実性の検討
- 10:12 | GK-17 松浦 義実 まつうら あきみ (M1)
JWST NIRSpec IFU の解析による $z \approx 7-9$ の銀河の多次元電子密度の算出
- 10:24 | GK-18 武知 可夏 たけち かな (M1)
JWST 近赤外線分光観測で探る宇宙最初期のダスト放射の起源
- 10:36 | GK-19 清田 朋和 きよた ともかず (M2)
JWST+ALMA+Subaru で探る $z = 6.6$ の Himiko, CR7 の性質と銀河合体への示唆
- 10:48 | GK-20 野澤 大河 のざわ たいが (M1)
ALMA を用いたダストに隠された高赤方偏移銀河の探索とその性質の理解

7月30日 11:15–12:15 会場 B

- 11:15 | GK-21 石田 怜士 いしだ れいし (D1)
種族 II 星団の形成と合体による初代銀河の形成とその IMF 依存性
- 11:27 | GK-22 稲元 燎平 いなもと りょうへい (M2)
二相乱流構造における宇宙線加速
- 11:39 | GK-23 影浦 優太 かげうら ゆうた (M2)
 $z = 5-14$ の Ly α 輝線観測で探る宇宙再電離史
- 11:51 | GK-24 榎森 遼 えもり りょう (M1)
 $z \sim 6.2$ における narrow band データによる pop III galaxy の探索
- 12:03 | GK-25 伊藤 茉那 いとう まな (D1)
3 次元輻射輸送計算によるダスト赤外放射の理論予測

7月30日 13:30–14:30 会場 A

- 13:30 | 招待講演 赤堀 卓也 あかほり たくや (国立天文台)
次世代望遠鏡の非熱的側面の探求から紐解く宇宙の生態系

7月30日 14:45–15:45 会場 A

- 14:45 | 招待講演 上田 周太郎 うえだ しゅうたろう (金沢大学)
XRISM の X 線精密分光観測で見えてきた銀河団ガスの運動学

ポスターセッション

7月29日 9:00–9:45 桜二、桜三
7月29日 18:30–19:15 桜二、桜三
7月30日 9:00–9:45 桜二、桜三
7月30日 18:30–19:15 桜二、桜三

GP-01 魚村 直人 うおむら なおと (M1)

mini-BAL クェーサー HS1603+3820 にみられる CIV 吸収線の時間変動調査

GP-02 佐藤 良 さとう まこと (M2)

クェーサーの接線方向に対する近接効果の多視線観測

GP-03 岡崎 真也 おかざき しんや (M1)

宇宙再電離期のクェーサー近接領域の調査

GP-04 妹尾 隆貴 せのおりゆうき (M1)

クェーサーの増光に伴うスペクトル変化の考察 ～hot spot の発見～

GP-05 桑山 裕斗 くわやま ゆうと (M1)

$z \sim 2$ におけるクェーサー密集領域のシミュレーションによる再現とその希少性の評価

GP-06 山岸 百香 やまぎし ももか (M1)

降着円盤からの放射が与える近中間赤外域 SED への影響

GP-07 奥村 珠希 おくむら たまき (M1)

ALMA 高空間分解観測により示された赤外線銀河 ESO173-G015 の星間塵に覆われた中心核の加熱源

GP-08 佐々木 悠宇 ささき ゆう (M1)

ULIRG/HyLIRG における、AGN アウトフローが銀河にもたらすフィードバックの調査

GP-09 大津 美穂 おおつ みほ (M1)

Gaia DR3 を用いた天の川銀河における恒星の動力学的性質の分類とその解釈

GP-10 坂本 雄哉 さかもと ゆうや (M1)

X 線と赤外線の強度相関を使う新手法で解き明かす AGN トーラス構造

GP-11 戸田 周佑 とだ しゅうすけ (M1)

Changing-look AGN 1ES 1927+654 の多波長キャンペーン観測から探る X 線コロナの再形成と AGN ジェットの起源

GP-12 丸山 満ちる まるやま みちる (M1)

銀河の衝突が AGN の活動および星形成活動に与える影響について

GP-13 小柴 啓太 こしば けいた (M1)

空間分解した銀河における星間物質と星形成率の関係

GP-14 柴沼 優葵 しばぬま ゆき (M1)

$z \sim 2$ における Quiescent Galaxy のブラックホール質量と速度分散の関係

GP-15 武田 唯 たけだ ゆい (M2)

JWST 面分光観測データで探る超巨大ブラックホールの形成

GP-16 菊池 翔太 きくち しょうた (M1)

乱流磁場が与えるファラデー深度やファラデー分散関数 (FDF) への影響

GP-17 美濃 宏太 みの こうだい (M1)

赤方偏移 1.6 前後の星形成銀河を対象とした FMOS-COSMOS サーベイの科学的成果とすばる PFS への展望

GP-18 田口 湧大 たぐち ゆうた (M1)

次元削減手法を用いた銀河多様体の解析

GP-19 岸川 涼 きしかわ りょう (M1)

非負値行列因子分解 (NMF) による NGC253 の星形成由来の構造・輝線の抽出

GP-20 山本 美咲 やまもと みさき (M1)

近傍棒渦巻銀河 NGC2903 における GMC 進化

GP-21 波多野 駿 はたの しゅん (D2)

近傍金属欠乏銀河が示す近赤外時間変動放射の系統的探索

GP-22 佐藤 愛奈 さとう あいな (M1)

低金属量の高赤方偏移銀河における水分子の放射機構と Pop III 超新星由来の水分子形成過程

GP-23 大金 有羽 おおがね ゆう (M1)

高次元統計解析による銀河分子ガスの物理的特徴抽出

GP-24 知久 真斗 ちく まなと (M1)

超新星フィードバックの効率：星間乱流・電離放射の影響

GP-25 藤川 百花 ふじかわ ももか (M1)

弱い重力レンズ効果を用いた銀河中心部のダークマター密度分布解析

GP-26 伊藤 大將 いとう だいすけ (D1)

衝突銀河団 Abell 3667 の北西外縁部の ICM と電波レリッパ

GP-27 滝 優輝 たき ゆうき (M1)

MAXI による全天の銀河団観測

GP-28 齊藤 結菜 さいとう ゆうな (M1)

XRISM 衛星による静穏な銀河団 Abell2029 の速度観測

GP-29 Guo Xingyi カク セイギ (M1)

A Review of Large-Scale Models in Astronomical Data Analysis

その他

開会式

7月28日 15:00–15:15

会場 A

15:00	開会式
	開会式

全体企画

7月30日 9:00–9:45

会場 A

14:15	特別講演 神原 祐樹 かんばら ゆうき (国立天文台/東京大学)
	夏の学校の持続的な開催のために

キャリア支援分科会

7月30日 16:00–17:00

会場 A

16:00	特別講演 田崎 文得 たざき ふみえ (東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社)
	私のキャリア つながりが生むチャンスと行動

受賞講演

7月31日 10:30–12:15

会場 A

10:30	受賞講演
	オーラルアワード講演
12:00	受賞講演
	ポスターアワード講演

閉会式

7月31日 13:30–14:00

会場 A

15:15	閉会式
	閉会式

塩田 大幸 (情報通信研究機構)

7月28日 15:30–16:30 A会場

宇宙天気予報：最も身近な天体「太陽」の社会に影響する現象とその予測

最も身近な天体「太陽」は、定常的な輻射により地球に大きな影響を及ぼしているがその影響以外に、定常的に流れ出す太陽風や、突発的な太陽の爆発現象（太陽フレア・コロナ質量放出（CME））、太陽高エネルギー粒子（SEP）などの現象によって、地球周辺の宇宙環境（宇宙天気）が大きく乱されることがある。これらの宇宙天気のじょう乱はしばしば、無線通信や衛星測位システムなど宇宙を利用する社会インフラや、人工衛星そのものなどに影響を及ぼすことがある。深刻な場合は、地上の送電網にも影響が及んだ例もある。情報通信研究機構（NICT）では、24時間365日体制で太陽を監視し、宇宙天気へ影響を予測する「宇宙天気予報」を毎日配信している。太陽と宇宙天気の関係について具体的な事例を挙げて解説するとともに宇宙天気予報の現状と課題について紹介する。

鷲ノ上 遥香 (理化学研究所)

7月30日 10:00–11:00 A会場

太陽からはじめる宇宙物理：コロナ加熱・フレアの物理とその応用

小質量恒星の大気外層には高温・希薄なプラズマであるコロナ大気が存在し、しばしばフレアと呼ばれる爆発現象を伴って強いX線や紫外線を放射する。これらの活動現象は、周囲の惑星環境や星間物質に大きな影響を及ぼす。本講演では、太陽を基準としたコロナ加熱およびフレアの基本的な物理を概説し、数値シミュレーションや観測を通じた近年の研究の進展、さらには未解明課題について紹介する。また、太陽研究によって得られた知見を他の恒星へと応用する試みについても議論し、恒星活動の多様性や星・惑星形成環境における星放射の役割といった応用例を幅広く取り上げる。太陽物理の理解を出発点として宇宙に広がる多様な恒星現象の理解へとつなげ、宇宙において恒星が果たす根源的な役割を探る。

岩切 渉 (千葉大学)

7月29日 11:15–12:15 A会場

マルチメッセンジャーネイティブ世代のみなさんへ

現在我々は、重力波、高エネルギーニュートリノの検出アラートが日常的に飛び交う時代を生きている。このような時代が来るとは少なくとも私は学生の時代に想像できていなかったが、第55回天文・天体物理若手夏の学校の参加者のみなさんはこのような電磁波以外の宇宙からもたらされる情報が身近にある環境で育つ、マルチメッセンジャーネイティブ世代と呼んでも差し支えなからう。今回主にX線観測とIceCubeによる高エネルギーニュートリノ観測でこれまでに得られた知見を紹介しながら、現在提示されている謎についてどのようにアプローチしていくべきか、マルチメッセンジャーネイティブ世代のみなさんと議論していきたい。

松本 達矢 (東京大学)

7月30日 11:15–12:15 A会場

コンパクト天体が駆動する突発天体現象

突発天体現象の多くはコンパクト天体の周囲で重力エネルギーが解放されることにより駆動される。これら天体の爆発現象は様々な波長の光や粒子を放出し、我々に多くの知見を提供するだけでなく、人間の生きているタイムスケールで進行するためドラマティックでもある。この講演では突発天体現象の代表例として超新星爆発、ガンマ線バースト、潮汐破壊現象などについて概観を試みる。さらに、最近または今後本格的に稼働する観測によってどのような進展が期待されるかも考察する。

佐藤 寿紀 (明治大学) - (変更前)

7月29日 13:30–14:30 A会場

天体物理の交差点「超新星残骸」の観測研究の魅力

超新星残骸は、星の最期に放出される膨大なエネルギーと物質が星間空間と相互作用する場であり、天体物理学の多彩なテーマが交差する「交差点」ともいえます。例えば、爆発に伴う衝撃波は星形成や宇宙線粒子加速に重要な役割を果たし、また、爆発で撒き散らされる物質には恒星の一生やコンパクト天体形成、爆発メカニズム、宇宙の元素供給史などを論じる上で欠かせない情報が刻まれています。本講演では、近年の X 線・可視光・電波・ γ 線といった多波長観測結果（特に X 線観測）を概観し、星間空間に多大な影響を与える超新星残骸の観測的魅力を共有します。

Herman Lee (京都大学) - (変更後)

7月29日 13:30–14:30 A会場

The Many Faceted Physics and Diversity of Supernova Remnants

The physics involved when we talk about the remnants of supernovae (SNRs) comes with many flavors, be it their collision-less shocks, particle acceleration, magnetic field amplification, particle-wave interaction, non-equilibrium ionization, and various non-thermal and thermal plasma and emission processes, just to name a few. Meanwhile, the rich morphological and spectroscopic diversity of SNRs revealed by decades of multi-wavelength observations has provoked intense interests in their origins, in particular the poorly understood association with their progenitor stars and explosion mechanisms, as well as activities during late-stage stellar evolution such as mass loss and mass transfer. In this talk, I will briefly cover the basics of our modern understanding of SNRs, with a special focus on their tantalizing diversity. I will also try to show how studying them can help us understand what their progenitor stars had gone through before, during and after the supernova explosions.

高棹 真介 (武蔵野美術大学)

7月29日 14:45–15:45 A会場

星表面から迫る星・惑星形成の新展開

原始星や前主系列星は、降着円盤から質量・角運動量・熱・磁場などを受け取りながら成長していく。一方で、中心星も輻射や物質、磁場の放出を通じて円盤や周囲の環境に影響を与える。このように、中心星と円盤が接続する中間領域は、星・惑星形成における内外の境界条件が交わる場であり、その理解は形成領域全体の進化を解明する上で極めて重要である。この領域は 1 au 未満の微細なスケールにあり、現在の観測では構造を直接とらえることが難しい。しかしその重要性から、近年はこの円盤最内縁部の理解に向けた理論・観測の研究が急速に進展している。このような背景の中、私たちは理論や数値シミュレーション、太陽・恒星物理の知見を統合しながら、この未開の領域の解明に取り組んでいる。本講演ではそのアプローチと近年の研究動向を紹介する。

神野 隆介 (神戸大学)

7月29日 10:00–11:00 A会場

宇宙論的一次相転移と重力波生成

2015年のLIGO-Virgoコラボレーションによる重力波初観測は、重力波天文学を確立すると同時に、重力波による高エネルギー初期宇宙の検証可能性を切り開いた。実際、今後10-20年の間に、LISAやDECIGOを始めとした観測衛星の打ち上げを契機として重力波宇宙論が全盛期を迎えることが期待され、高エネルギー初期宇宙で起きたダイナミクス、ひいては素粒子論・宇宙論の未解決の謎に迫るまたとない好機が訪れる。本講演では、高エネルギー下での自発的対称性の破れに伴う一次相転移の可能性に着目し、重力波による検証可能性がどこまで進んだか、観測開始までにどのような理論整備が必要かなどについて講演する。特に、標準模型を超えたヒッグスの物理がもたらす一次相転移とそこから生じる重力波の観測可能性、及び加速器実験とのシナジーについても議論を深める。

真貝 寿明 (大阪工業大学)

7月29日 16:00–17:00 A会場

一般相対性理論110年の概観

今年は、量子力学が誕生してから100年であるが、一般相対性理論が提出されて110年、重力波の初観測から10年となる節目の年でもある。ブラックホール、膨張宇宙、重力波の3つのテーマの発展を追い、現在の研究課題の位置付けを考えたい。若手の研究者にとって、モデルパラメータを変える程度の論文は、すぐに着手できて魅力的かもしれないが、今後は、自分で研究分野を創造していく気概を持ってもらいたいと思う。

玉川 徹 (理化学研究所)

7月28日 16:45–17:45 A会場

超小型衛星で天文学ができた：NinjaSat が切り拓いた道

キューブサットに代表される超小型衛星は、民間による宇宙利用の広がりとともに、研究者にも現実的な観測手段となりつつあります。こうした状況を背景に、理化学研究所は2020年、X線天文ミッションの実現を目指し、NinjaSatプロジェクトを立ち上げました。NinjaSatは6Uサイズ（ $30 \times 20 \times 10 \text{ cm}^3$ ）8 kgの衛星で、2023年11月に打ち上げられました。これまで1年半の科学運用で30個のX線天体を観測し、すでに論文執筆・出版も進んでいます。プロジェクト開始当初は、「超小型衛星で天文観測は可能なのか？」という懐疑的な声もありました。しかし実際には、衛星の機動性や柔軟性、若手メンバーによる積極的なアイデア出しにより、複数の優れた科学観測が実施できました。本講演では、NinjaSatの軌跡を振り返るとともに、今後の宇宙科学における超小型衛星の可能性について展望します。

関谷 洋之 (東京大学)

7月28日 18:00–19:00 A会場

超新星ニュートリノ観測の推進：スーパーカミオカンデのハードウェア改修と今後の役割

スーパーカミオカンデ検出器は、ガドリニウムの導入（SK-Gd）に成功し、逆ベータ崩壊事象の識別能力を大幅に向上させ、超新星ニュートリノに対する感度を飛躍的に高めるアップグレードを遂げた。特に、過去の超新星爆発に由来するニュートリノ、すなわち超新星背景ニュートリノ（DSNB）の世界初観測が現実的な目標となりつつある。

本講演では、SK-Gdプロジェクトを実現した一連のハードウェア開発について紹介する。これには、SKタンクの補修、高純度ガドリニウム硫酸塩の開発、ならびに全く新しい水循環システムの構築が含まれる。また、光電子増倍管（PMT）の性能を一時的に低下させていた地磁気補償コイルの修復作業についても報告する。

さらに、マルチメッセンジャー天文学の観点から、スーパーカミオカンデが担う超新星ニュートリノ観測の枠組みについて概説し、各種観測装置との連携によるアラート発出の仕組みを説明する。最後に、ハイパーカミオカンデ建設が進展する中で、スーパーカミオカンデが今後果たすべき役割について展望を述べる。

赤堀 卓也 (国立天文台)

7月30日 13:30–14:30 A会場

次世代望遠鏡の非熱的側面の探求から紐解く宇宙の生態系

銀河と銀河団、そして活動銀河核は、影響を相互に及ぼし合って宇宙の「生態系」を形成している。相互作用においては様々な天体現象が起こり、そして物理状態が励起されることが知られるが、中でも乱流・磁場・宇宙線といった非熱的側面は、まだまだ理論的にも観測的にも未開拓領域である。近年、センチ波メートル波帯の長波長電波観測の劇的な性能向上によって、その非熱的側面の探求が大きく進捗している。中には起源不明の天体や、既知の物理では単純に理解できない現象も見つかってきた。これらの新発見は、宇宙の生態系の全容把握にとって、一体どのような意味をもつのだろうか？そこで本講演では、乱流・磁場・宇宙線の物理の概説を挟みながら、長波長電波観測の最新結果を紹介する。多波長とのシナジーにも注目しながら、将来計画を含めた研究の展望を議論する。

招待講演
アブストラクト

上田 周太朗 (金沢大学)

7月30日 14:45–15:45 A会場

XRISM の X 線精密分光観測で見えてきた銀河団ガスの運動学

2016年に打ち上げられた X 線天文衛星「ひとみ」は、そのわずかな観測期間の中でペルセウス銀河団の中心領域を観測し、銀河団高温プラズマガス (intracluster medium; 以下、銀河団ガス) の乱流速度が 100 - 200 km/s であることを明らかにした。銀河団ガスの音速に比べて乱流は非常に小さく、その非熱的圧力は熱的圧力に対し 4 % ほどしかない極めて静かな状態にあることを意味する。しかしこの結果は、たまたまペルセウス銀河団の銀河団ガスが静かなのか、銀河団ガスが一般的に静かなのか切り分けができず、銀河団ガスの物理を解き明かす上で重要な未解決問題となっていた。2023年に打ち上げられた「ひとみ」の後継機となる XRISM は、約2年間の運用により複数の銀河団の様々な領域を観測し、銀河団ガスの乱流の非熱的圧力はやはり熱的圧力に対し数 % しかないケースが大半であることを明らかにした。この講演では XRISM の最新の観測を紹介しつつ、銀河団ガスの運動学について詳述する。

皆様から企画のアイデアを募って決定される「公募企画」は、学生が知りたい・興味があるという題材を参加者が自ら設定・準備・運営し、招待講師・参加者全員で議論するという、夏の学校ならではの分科会です。

公募企画

講師：神原 祐樹（国立天文台/東京大学）

7月30日 9:00–9:45 A会場

夏の学校の持続的な開催のために

天文・天体物理若手夏の学校は、天文学・天体物理学を研究する若手研究者のために毎年夏に開催される研究会です。2020年以降、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴うオンライン開催、研究会形式での開催を経て、2024年より合宿形式での開催が復活しました。大学・分野の枠を超えて大学院生が交流する場として果たす役割は非常に大きいものである一方、運営を担当する事務局員にとっては自身の研究に影響が出るほど仕事の負担が大きくなっています。同様の問題は2013年の全体企画でも議論されていますが、10年以上が経過した現在でもほとんど改善されていません。これは毎年運営担当者が変わることで、問題点の引継ぎ、改善がなされないまま開催されることが続いてきたこと、多くの参加者は修士課程の学生で、博士課程が主体となっている運営との間に温度差があることなどが原因だと考えられます。この全体企画では、夏の学校を取り巻く問題を参加者の皆様に共有し、開催形式・運営体制等について、参加者の皆様からのご意見をお聞きし、改善できる点は無いか議論することを計画しています。

◇ 講師

神原 祐樹 様

〈現所属〉 国立天文台 / 東京大学 理学研究科 天文学専攻 D2

◇ 世話人

徳地 研人（京都大学）

特別セッション（キャリア支援分科会）

夏の学校参加者の中には、まだ将来の進路について漠然としか考えられていなかったり、博士課程へ進むという選択肢そのものがなく就職するという人もおられるのではないのでしょうか？ 第55回夏の学校では、昨年度もご支援いただいたキャリア教育委員会様との共同で開催いたします。多様な経歴を持った講師の方のお話を聞く場を設け、将来のキャリア選択に対する関心やイメージを持ってもらったり、これまで考慮に入れていなかった選択肢も含めて幅広く検討してもらえる機会にしたいと思います。

田崎 文得（東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社）

7月30日 16:00–17:00 A会場

私のキャリア つながりが生むチャンスと行動

学位取得、ポスドク、そして民間企業へ就職し天文学研究も継続、とこれまで自分のキャリアを歩んできました。周囲の方々のおかげで機会を得て、ひとつひとつを自分で選択してきたからこそ、今の自分があると実感しています。私自身まだまだキャリアの途中で、みなさんにお話しするのは少し気が引けるところもありますが、一つの事例として参考になれば幸いです。

◇ 支援機関

日本天文学会 キャリア支援委員会 様

◇ 講師

田崎 文得 様

〈現所属〉 東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社

◇ 世話人

橋ヶ谷 武志（京都大学）

ご支援いただいた皆様へ

2025 年度天文・天体物理若手夏の学校は各研究機関及び関係者の皆様のご支援によって支えられています。おかげさまで、無事に本年度も天文・天体物理若手夏の学校を開催することができました。この場を借りて、天文・天体物理若手夏の学校にご支援いただいた皆様に事務局一同厚く御礼申し上げます。

第 55 回天文・天体物理若手夏の学校事務局一同

感謝の意を表しまして、ご支援いただいた皆様の御芳名を以下に掲載致します。

◇ 共催

京都大学基礎物理学研究所

◇ 助成

国立天文台

◇ 後援

光学赤外線天文連絡会
理論天文学宇宙物理学懇談会
宇宙線研究者会議 (CRC)
日本天文教育普及研究会
高エネルギー宇宙物理連絡会
宇宙電波懇談会
日本天文学会

◇ 協賛（企業、敬称略）

株式会社 Archeda
Daiphys Technologies LLC / 大物理技術研究所
株式会社 Fusic
株式会社西村製作所
NV5 Geospatial 株式会社
衛星データサービス企画株式会社 (SDS)
宇宙技術開発株式会社 (SED)

◇ 協賛（個人、敬称略）

浅井歩	早崎公威
麻生有佑	三浦均
上杉憲一	水村好貴
鴈野重之	村瀬建
小路真木子	南仏ニースの天文学者 (P.N.)
近田義広	その他匿名希望
辻本匡弘	11 名
西村淳	

◇ 招待講師（敬称略）

塩田 大幸（情報通信研究機構）
鷲ノ上 遥香（理化学研究所）
岩切 渉（千葉大学）
松本 達矢（東京大学）
佐藤 寿紀（明治大学）
Herman Lee（京都大学）
高棹 真介（武蔵野美術大学）
神野 隆介（神戸大学）
真貝 寿明（大阪工業大学）
玉川 徹（理化学研究所）
関谷 洋之（東京大学）
赤堀 卓也（国立天文台）
上田 周太郎（金沢大学）
神原 祐樹（国立天文台/東京大学）
田崎 文得（東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社）

謝辞



IDL

IDLは天文・地球物理データ解析のデファクトスタンダードソフトウェアです。

SolarSoft、あらせなど様々な解析ツールはIDLをベースに開発されています。

IDLは研究者個人利用から大規模な統合解析ツールまで利用可能な解析//可視化の統合パッケージです。

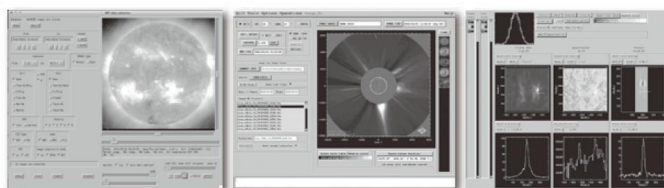
表示機能

マルチプロット、2次元コンタ、関心領域指定、アニメーションなど

IDL利用プロジェクト

■SOHO ■ひので ■あすか ■あらせ ■あけぼの ■ALMA
■すばる ■光赤外線干渉計 (MIRA) ■GEOTAIL ■あかり

無償評価版があります、お気軽にご連絡ください。



NV5

GEOSPATIAL

NV5 Geospatial 株式会社

本社 / 東京オフィス

〒113-0033 東京都文京区本郷1-20-3 中山ビル3F
TEL : 03-6801-6147 / FAX : 03-6801-6148

大阪オフィス

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-1-23 コウダイ肥後橋ビル5F
TEL : 06-6441-0019 / FAX : 06-6441-0020

URL > <https://www.NV5GeospatialSoftware.co.jp> MAIL > sales_jp@NV5.com

衛星データで未来を創る

より身近で、使いやすい衛星データを提供し、
災害対策・国土強靱化や地球規模の課題の解決に
貢献します



衛星データサービス企画株式会社

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 4-6-1 (21 東和ビル 5 階)

TEL : 03-6380-8927

HP : <https://www.sd-services.co.jp/>

夏の学校事務局スタッフ

校長	橋ヶ谷 武志	(京都大学)		
副校長	大津 天斗	(京都大学)		
事務局長	徳地 研人	(京都大学)		
副事務局長	中谷 友哉	(京都大学)		
会場係	井上 裕介	(京都大学)	櫻井 雄太	(京都大学)
寄付広告係	宮園 隼人	(京都大学)	小笠原 優斗	(京都大学)
分科会係	中谷 友哉	(京都大学)	芳岡 尚悟	(京都大学)
	呼子 優人	(京都大学)	峰平 政志	(京都大学)
	坂本 和樹	(京都大学)		
レジスト係	吉久 健朗	(京都大学)	福永 千裕	(京都大学)
	藤丸 祐生	(京都大学)	藤原 寛太	(京都大学)
集録係	中山 和哉	(京都大学)		
全体企画係	湊 恵太	(京都大学)		
夜の分科会係	市原 晋之介	(京都大学)	夏目 純也	(京都大学)
	河嶋 岳	(京都大学)		
サーバー係	小林 元	(京都大学)		
会計係	井上 峻	(京都大学)	鶴見 美和	(京都大学)
	瀧藤 晴	(京都大学)	夏目 純也	(京都大学)
	前田 悠陽	(京都大学)		

座長団

太陽・恒星	廣瀬 維士	(総合研究大学院大学)	市原 晋之介	(京都大学)
	戸頃 響吾	(東京大学)	永田 晴飛	(兵庫県立大学)
	藤原 晨司	(東京大学)		
コンパクト天体	千葉 公哉	(東北大学)	及川 凜	(東北大学)
	熊田 遼太	(東北大学)	越水 拓海	(東北大学)
	櫻井 雄太	(京都大学)	瀧藤 晴	(京都大学)
星間現象星・惑星形成	鍋田 春樹	(東北大学)	北出 直也	(総合研究大学院大学)
	松永 拓巳	(茨城大学)	根津 正大	(東京大学)
	藤丸 祐生	(京都大学)	石田 侑一郎	(東京大学)
素粒子・重力・宇宙論	林 知哉	(大阪公立大学)	竹内 智貴	(立教大学)
	辻 天太	(総合研究大学院大学)	鈴木 幹基	(東京大学)
	千葉 航	(神戸大学)	水野 湧真	(慶應義塾大学)
観測機器	青山 有未来	(東京理科大学)	井澤 拓海	(東京大学)
	岩垣 大成	(東京大学)	今度 隆二	(金沢大学)
	菅井 春佳	(中央大学)		
銀河・銀河団	伊藤 大将	(名古屋大学)	石田 怜士	(筑波大学)
	影浦 優太	(東京大学)	清田 朋和	(総合研究大学院大学)
	西濱 大将	(大阪大学)	藤原 寛太	(京都大学)
	松野 なな	(総合研究大学院大学)		

第 55 回 天文・天体物理夏の学校 プログラム集

発行日 2025 年 7 月 30 日
編集 集録係 中山 和哉
発行者 校長 橋ヶ谷 武志
連絡先 ss25shuroku@gmail.com (集録係長 中山 和哉)
注意 このプログラム集に記載されている情報は、
夏の学校以外の用途では使用しないでください。